



Tsukuba Institute of Science & Technology

建築環境学科（2年課程）
建築・土木施工コース

令和7年度シラバス

建 築 環 境 学 科
建築・土木施工コース

筑波研究学園専門学校

学科別教科目（１学年 前期）

◆建築・土木施工コース

	教 科 名	授業科目名
1	産業情報	建築パソコンリテラシー
2	建築設計製図	設計製図演習Ⅰ
3	建築計画	住宅計画
4	構造力学	構造力学Ⅰ
5	建築一般構造	建築一般構造Ⅰ
6	建築材料	建築材料Ⅰ
7	建築生産	建築施工Ⅰ
8	その他	CAD 製図演習Ⅰ
9	その他	建築測量実習Ⅰ
10	指定科目外	建設総合演習A
11	指定科目外	土木総合演習A
12		

【授業科目名】	建築パソコンリテラシー(授業形態:演習)																																																		
【教科目名】	産業情報	【単位数】	1 単位																																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	・ 建築・土木施工コース																																																
【学習時期】	前 期																																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																																
【授業担当者】	内海 貴裕 [実務経験：建設会社にてオフィスソフトによる書類の作成]																																																		
【学 習 目 標】	建設業界においても日々の書類の作成から企画書・見積書などはワープロや表計算ソフトを利用しており、ファイルのやりとりもパソコンを介して送受信されている。これらの基礎知識と技術を習得する。																																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td colspan="2">授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>Windows11とOfficeソフトの概要</td><td>オリエンテーション</td></tr><tr><td>2</td><td>Word</td><td>文字の入力、用紙サイズ設定、保存、読み込み</td></tr><tr><td>3</td><td></td><td>文字の付け、文字フォント、画像・図形の挿入、表の挿入</td></tr><tr><td>4</td><td></td><td>応用編（レイアウト、ページ設定、段落調整 他）</td></tr><tr><td>5</td><td></td><td>小テスト</td></tr><tr><td>6</td><td>Excel</td><td>データ入力、セルの編集、自動計算</td></tr><tr><td>7</td><td></td><td>ページ設定、シートの活用、画像・図形の挿入</td></tr><tr><td>8</td><td></td><td>見積もり表の作成</td></tr><tr><td>9</td><td></td><td>小テスト</td></tr><tr><td>10</td><td>Powerpoint</td><td>文字の入力、用紙サイズ設定、・画像・図形の挿入</td></tr><tr><td>11</td><td></td><td>デザインシート、画面の切り替え、</td></tr><tr><td>12</td><td></td><td>アニメーションウィンドウ、スライドショー</td></tr><tr><td>13</td><td></td><td>成果物のプレゼンテーション①（発表会）</td></tr><tr><td>14</td><td></td><td>成果物のプレゼンテーション②（発表会）</td></tr><tr><td>15</td><td></td><td>総復習</td></tr></table>			回数	授業内容		1	Windows11とOfficeソフトの概要	オリエンテーション	2	Word	文字の入力、用紙サイズ設定、保存、読み込み	3		文字の付け、文字フォント、画像・図形の挿入、表の挿入	4		応用編（レイアウト、ページ設定、段落調整 他）	5		小テスト	6	Excel	データ入力、セルの編集、自動計算	7		ページ設定、シートの活用、画像・図形の挿入	8		見積もり表の作成	9		小テスト	10	Powerpoint	文字の入力、用紙サイズ設定、・画像・図形の挿入	11		デザインシート、画面の切り替え、	12		アニメーションウィンドウ、スライドショー	13		成果物のプレゼンテーション①（発表会）	14		成果物のプレゼンテーション②（発表会）	15		総復習
回数	授業内容																																																		
1	Windows11とOfficeソフトの概要	オリエンテーション																																																	
2	Word	文字の入力、用紙サイズ設定、保存、読み込み																																																	
3		文字の付け、文字フォント、画像・図形の挿入、表の挿入																																																	
4		応用編（レイアウト、ページ設定、段落調整 他）																																																	
5		小テスト																																																	
6	Excel	データ入力、セルの編集、自動計算																																																	
7		ページ設定、シートの活用、画像・図形の挿入																																																	
8		見積もり表の作成																																																	
9		小テスト																																																	
10	Powerpoint	文字の入力、用紙サイズ設定、・画像・図形の挿入																																																	
11		デザインシート、画面の切り替え、																																																	
12		アニメーションウィンドウ、スライドショー																																																	
13		成果物のプレゼンテーション①（発表会）																																																	
14		成果物のプレゼンテーション②（発表会）																																																	
15		総復習																																																	
【資格との関連】	マイクロソフト オフィス スペシャリスト（MOS）																																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。 課題点・期末点は演習課題で評価します。未提出は評価の対象となりませんので、必ず提出するように注意してください。																																																		
【教 科 書】	30 時間でマスターOffice2021（実教出版株式会社）																																																		
【参 考 資 料】	オリジナルの例題文章、見積書 等																																																		
【留 意 事 項】	業務ではパソコンを扱えることが必須条件ですが、在学中においても卒業研究などの授業で多く利用されますので、ひと通り修得するようにしてください。																																																		

【授業科目名】	設計製図演習Ⅰ（授業形態：演習）																																		
【教科目名】	建築設計製図	【単位数】	2 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	前 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	(90 分×2 回+45 分×1 回) ×15 週																																
【授業担当者】	川崎 龍太 〔実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計〕																																		
【学 習 目 標】	木造戸建住宅各図面の役割と設計表現を学習する。その後各図面をトレースすることで木造図面をより正しく理解し、設計製図技術も習得する。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>オリエンテーション 製図道具の紹介・使い方、線と文字の練習（演習課題）</td></tr><tr><td>2</td><td>配置図の解説</td></tr><tr><td>3</td><td>配置図トレース（演習課題）</td></tr><tr><td>4</td><td>平面図の解説</td></tr><tr><td>5</td><td>平面図のトレース（演習課題）</td></tr><tr><td>6</td><td>断面図の解説</td></tr><tr><td>7</td><td>断面図のトレース（演習課題）</td></tr><tr><td>8</td><td>立面図の解説</td></tr><tr><td>9</td><td>立面図のトレース（演習課題）</td></tr><tr><td>1 0</td><td>基礎伏図の解説・トレース（演習課題）</td></tr><tr><td>1 1</td><td>床伏図の解説・トレース（演習課題）</td></tr><tr><td>1 2</td><td>小屋伏図の解説</td></tr><tr><td>1 3</td><td>小屋伏図のトレース（演習課題）</td></tr><tr><td>1 4</td><td>矩計図の解説</td></tr><tr><td>1 5</td><td>矩計図のトレース（演習課題）</td></tr></table>			回数	授業内容	1	オリエンテーション 製図道具の紹介・使い方、線と文字の練習（演習課題）	2	配置図の解説	3	配置図トレース（演習課題）	4	平面図の解説	5	平面図のトレース（演習課題）	6	断面図の解説	7	断面図のトレース（演習課題）	8	立面図の解説	9	立面図のトレース（演習課題）	1 0	基礎伏図の解説・トレース（演習課題）	1 1	床伏図の解説・トレース（演習課題）	1 2	小屋伏図の解説	1 3	小屋伏図のトレース（演習課題）	1 4	矩計図の解説	1 5	矩計図のトレース（演習課題）
回数	授業内容																																		
1	オリエンテーション 製図道具の紹介・使い方、線と文字の練習（演習課題）																																		
2	配置図の解説																																		
3	配置図トレース（演習課題）																																		
4	平面図の解説																																		
5	平面図のトレース（演習課題）																																		
6	断面図の解説																																		
7	断面図のトレース（演習課題）																																		
8	立面図の解説																																		
9	立面図のトレース（演習課題）																																		
1 0	基礎伏図の解説・トレース（演習課題）																																		
1 1	床伏図の解説・トレース（演習課題）																																		
1 2	小屋伏図の解説																																		
1 3	小屋伏図のトレース（演習課題）																																		
1 4	矩計図の解説																																		
1 5	矩計図のトレース（演習課題）																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点を総合して評価します。 課題点は演習課題で評価します。期限内提出は1 0 0 点満、期限外提出は5 9 点満点で算出し、平均化して点数をつけます。																																		
【教 科 書】	改訂版 建築製図基本の基本（学芸出版社）																																		
【参 考 資 料】	住まいの建築設計製図（学芸出版社） 必携建築資料ビジュアルハンドブック（実教出版）																																		
【留 意 事 項】	課題は提出期限を必ず守るようにしてください。また、未提出が1 枚でもあると単位が出せませんので、必ず全て提出して下さい。																																		

【授業科目名】	住宅計画(授業形態:講義)
---------	---------------

【教科目名】	建築計画	【単位数】	2 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	前 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																
【授業担当者】	原 智樹 [実務経験：住宅会社にて住宅の設計]																																		
【学 習 目 標】	独立住宅と集合住宅の機能や役割などの基本的性質と、生活に必要な要素や空間構成計画などの基礎知識を習得する。計画演習では、実際の物件を細かく解析し、各室の計画手法や考え方の基本を読み解く。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>住宅計画の進め方 敷地計画、配置計画、平面計画 オリエンテーション</td></tr><tr><td>2</td><td>独立住宅の平面計画① 基本構成・個室・共同室</td></tr><tr><td>3</td><td>独立住宅の平面計画② 家事空間・生理・衛生空間</td></tr><tr><td>4</td><td>独立住宅の平面計画③ 収納計画、交通空間</td></tr><tr><td>5</td><td>独立住宅の設備計画 給排水・衛生、冷暖房設備、電気設備、</td></tr><tr><td>6</td><td>独立住宅の計画演習① 配置・平面計画の解析・研究</td></tr><tr><td>7</td><td>独立住宅の計画演習② 立体計画の解析・研究</td></tr><tr><td>8</td><td>中間総復習 中間試験</td></tr><tr><td>9</td><td>二世帯住宅の平面計画① 親世帯・子世帯の計画</td></tr><tr><td>1 0</td><td>二世帯住宅の平面計画② 共有空間、家事空間の計画</td></tr><tr><td>1 1</td><td>二世帯住宅の平面計画③ 生理・衛生、収納空間の計画</td></tr><tr><td>1 2</td><td>集合住宅のあらまし 集合住宅の種類と機能</td></tr><tr><td>1 3</td><td>集合住宅の計画の進め方① 敷地計画、配置・住棟計画</td></tr><tr><td>1 4</td><td>集合住宅の計画の進め方② 住戸計画・構造計画・構造計画</td></tr><tr><td>1 5</td><td>総復習</td></tr></table>			回数	授業内容	1	住宅計画の進め方 敷地計画、配置計画、平面計画 オリエンテーション	2	独立住宅の平面計画① 基本構成・個室・共同室	3	独立住宅の平面計画② 家事空間・生理・衛生空間	4	独立住宅の平面計画③ 収納計画、交通空間	5	独立住宅の設備計画 給排水・衛生、冷暖房設備、電気設備、	6	独立住宅の計画演習① 配置・平面計画の解析・研究	7	独立住宅の計画演習② 立体計画の解析・研究	8	中間総復習 中間試験	9	二世帯住宅の平面計画① 親世帯・子世帯の計画	1 0	二世帯住宅の平面計画② 共有空間、家事空間の計画	1 1	二世帯住宅の平面計画③ 生理・衛生、収納空間の計画	1 2	集合住宅のあらまし 集合住宅の種類と機能	1 3	集合住宅の計画の進め方① 敷地計画、配置・住棟計画	1 4	集合住宅の計画の進め方② 住戸計画・構造計画・構造計画	1 5	総復習
回数	授業内容																																		
1	住宅計画の進め方 敷地計画、配置計画、平面計画 オリエンテーション																																		
2	独立住宅の平面計画① 基本構成・個室・共同室																																		
3	独立住宅の平面計画② 家事空間・生理・衛生空間																																		
4	独立住宅の平面計画③ 収納計画、交通空間																																		
5	独立住宅の設備計画 給排水・衛生、冷暖房設備、電気設備、																																		
6	独立住宅の計画演習① 配置・平面計画の解析・研究																																		
7	独立住宅の計画演習② 立体計画の解析・研究																																		
8	中間総復習 中間試験																																		
9	二世帯住宅の平面計画① 親世帯・子世帯の計画																																		
1 0	二世帯住宅の平面計画② 共有空間、家事空間の計画																																		
1 1	二世帯住宅の平面計画③ 生理・衛生、収納空間の計画																																		
1 2	集合住宅のあらまし 集合住宅の種類と機能																																		
1 3	集合住宅の計画の進め方① 敷地計画、配置・住棟計画																																		
1 4	集合住宅の計画の進め方② 住戸計画・構造計画・構造計画																																		
1 5	総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 インテリアコーディネーター																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。																																		
【教 科 書】	住まいの建築計画（学芸出版社）																																		
【参 考 資 料】	図説 やさしい建築計画（学芸出版社）																																		
【留 意 事 項】	設計製図演習Ⅱで行う自主設計に直結します。 また、二級建築士製図試験の課題は住宅が基本型となりますので しっかり学習して下さい。																																		

【授業科目名】		構造力学Ⅰ（授業形態：講義）																																																	
【教科目名】	構造力学	【単位数】	2 単位																																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																																
【学習時期】	前 期																																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																																
【授業担当者】	大野 克典 〔実務経験：建築設計事務所にて建築物の構造計算〕																																																		
【学 習 目 標】	建築物を構成している骨組（柱・梁・壁・床）に作用する力の流れを理解するための力学基礎理論（建築物に働く力、力の釣り合い、安定・静定、応力の種類と求め方など）を習得する。																																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td colspan="2">授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>建築物に働く力</td><td>オリエンテーション</td></tr><tr><td>2</td><td>力の基本</td><td>力</td></tr><tr><td>3</td><td>力の基本</td><td>力の合成と分解</td></tr><tr><td>4</td><td>力の基本</td><td>力の釣り合い</td></tr><tr><td>5</td><td>構造物と荷重および外力</td><td>支点と節点</td></tr><tr><td>6</td><td>構造物と荷重および外力</td><td>荷重および外力</td></tr><tr><td>7</td><td>反力の求め方</td><td>反力</td></tr><tr><td>8</td><td>中間復習</td><td>中間試験</td></tr><tr><td>9</td><td>反力の求め方</td><td>単純梁</td></tr><tr><td>10</td><td>反力の求め方</td><td>片持梁</td></tr><tr><td>11</td><td>反力の求め方</td><td>3 ヒンジラーメン①</td></tr><tr><td>12</td><td>反力の求め方</td><td>3 ヒンジラーメン②</td></tr><tr><td>13</td><td>反力の求め方</td><td>全般</td></tr><tr><td>14</td><td>安定・不安定</td><td>構造物静定・不静定</td></tr><tr><td>15</td><td>総復習</td><td></td></tr></table>			回数	授業内容		1	建築物に働く力	オリエンテーション	2	力の基本	力	3	力の基本	力の合成と分解	4	力の基本	力の釣り合い	5	構造物と荷重および外力	支点と節点	6	構造物と荷重および外力	荷重および外力	7	反力の求め方	反力	8	中間復習	中間試験	9	反力の求め方	単純梁	10	反力の求め方	片持梁	11	反力の求め方	3 ヒンジラーメン①	12	反力の求め方	3 ヒンジラーメン②	13	反力の求め方	全般	14	安定・不安定	構造物静定・不静定	15	総復習	
回数	授業内容																																																		
1	建築物に働く力	オリエンテーション																																																	
2	力の基本	力																																																	
3	力の基本	力の合成と分解																																																	
4	力の基本	力の釣り合い																																																	
5	構造物と荷重および外力	支点と節点																																																	
6	構造物と荷重および外力	荷重および外力																																																	
7	反力の求め方	反力																																																	
8	中間復習	中間試験																																																	
9	反力の求め方	単純梁																																																	
10	反力の求め方	片持梁																																																	
11	反力の求め方	3 ヒンジラーメン①																																																	
12	反力の求め方	3 ヒンジラーメン②																																																	
13	反力の求め方	全般																																																	
14	安定・不安定	構造物静定・不静定																																																	
15	総復習																																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士																																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																		
【教 科 書】	改訂版 図説 やさしい構造力学 （学芸出版社）																																																		
【参 考 資 料】	図説 やさしい建築数学（学芸出版社）																																																		
【留 意 事 項】	建築物の構造的安全性を確保することは、「人命と財産を護る」ことにつながります。そのためには力学的な知識と技術が必要であり、力の流れを理解して「安全とは何か」を知ることにより留意してください。																																																		

【授業科目名】	建築一般構造Ⅰ（授業形態：講義）																																																																		
【教科目名】	建築一般構造	【単位数】	2 単位																																																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																																																
【学習時期】	前 期																																																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																																																
【授業担当者】	原 智樹 〔実務経験：住宅会社にて住宅の設計〕																																																																		
【学 習 目 標】	建築構造の概要（工法の変遷、分類、留意点）、木構造（特徴、構造形式、軸組構法、枠組壁構法など）、木構造と仕上げ（外部仕上げ）、開口部の建築知識を習得する。																																																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td colspan="3">授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td colspan="2">建築構法の変遷と分類</td><td>オリエンテーション</td></tr><tr><td>2</td><td>木構造 1</td><td colspan="2">木材の特徴（組織 性質 規格 材料）</td></tr><tr><td>3</td><td>木構造 2</td><td colspan="2">軸組構法・接合・金物根切・地業・基礎</td></tr><tr><td>4</td><td>木構造 3</td><td colspan="2">軸組 土台 柱 桁胴差</td></tr><tr><td>5</td><td>木構造 4</td><td colspan="2">構造耐力上必要な軸組の計算 貫 間柱 窓まぐさ</td></tr><tr><td>6</td><td>木構造 5</td><td colspan="2">窓台 小屋組 和小屋 洋小屋 床組み 階段</td></tr><tr><td>7</td><td>木構造 6</td><td colspan="2">枠組壁構法 接合金物 接合方法 大断面集成材</td></tr><tr><td>8</td><td>木構造</td><td>中間復習</td><td>中間試験</td></tr><tr><td>9</td><td>仕上げ 1</td><td colspan="2">防水 外部仕上げ 屋根 瓦 金属 スレート</td></tr><tr><td>1 0</td><td>仕上げ 2</td><td colspan="2">軒天井 庇 樋 外壁 板 塗 スレート ALC版</td></tr><tr><td>1 1</td><td>仕上げ 3</td><td colspan="2">内部 床仕上げ 内壁 天井 床の間周り</td></tr><tr><td>1 2</td><td>仕上げ 4</td><td colspan="2">内部 収納空間 縁側 RC造・S造 階段</td></tr><tr><td>1 3</td><td>開口部 1</td><td colspan="2">開口部の構成 開閉方式</td></tr><tr><td>1 4</td><td>開口部 2</td><td colspan="2">外部開口部 内部開口部</td></tr><tr><td>1 5</td><td colspan="3">総復習</td></tr></table>			回数	授業内容			1	建築構法の変遷と分類		オリエンテーション	2	木構造 1	木材の特徴（組織 性質 規格 材料）		3	木構造 2	軸組構法・接合・金物根切・地業・基礎		4	木構造 3	軸組 土台 柱 桁胴差		5	木構造 4	構造耐力上必要な軸組の計算 貫 間柱 窓まぐさ		6	木構造 5	窓台 小屋組 和小屋 洋小屋 床組み 階段		7	木構造 6	枠組壁構法 接合金物 接合方法 大断面集成材		8	木構造	中間復習	中間試験	9	仕上げ 1	防水 外部仕上げ 屋根 瓦 金属 スレート		1 0	仕上げ 2	軒天井 庇 樋 外壁 板 塗 スレート ALC版		1 1	仕上げ 3	内部 床仕上げ 内壁 天井 床の間周り		1 2	仕上げ 4	内部 収納空間 縁側 RC造・S造 階段		1 3	開口部 1	開口部の構成 開閉方式		1 4	開口部 2	外部開口部 内部開口部		1 5	総復習		
回数	授業内容																																																																		
1	建築構法の変遷と分類		オリエンテーション																																																																
2	木構造 1	木材の特徴（組織 性質 規格 材料）																																																																	
3	木構造 2	軸組構法・接合・金物根切・地業・基礎																																																																	
4	木構造 3	軸組 土台 柱 桁胴差																																																																	
5	木構造 4	構造耐力上必要な軸組の計算 貫 間柱 窓まぐさ																																																																	
6	木構造 5	窓台 小屋組 和小屋 洋小屋 床組み 階段																																																																	
7	木構造 6	枠組壁構法 接合金物 接合方法 大断面集成材																																																																	
8	木構造	中間復習	中間試験																																																																
9	仕上げ 1	防水 外部仕上げ 屋根 瓦 金属 スレート																																																																	
1 0	仕上げ 2	軒天井 庇 樋 外壁 板 塗 スレート ALC版																																																																	
1 1	仕上げ 3	内部 床仕上げ 内壁 天井 床の間周り																																																																	
1 2	仕上げ 4	内部 収納空間 縁側 RC造・S造 階段																																																																	
1 3	開口部 1	開口部の構成 開閉方式																																																																	
1 4	開口部 2	外部開口部 内部開口部																																																																	
1 5	総復習																																																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士																																																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																																		
【教 科 書】	図説 やさしい建築一般構造 （学芸出版社）																																																																		
【参 考 資 料】	必携建築資料ビジュアルハンドブック（実教出版）																																																																		
【留 意 事 項】	多くの専門用語・部材名称が出てきます。理解不足のままですと、建築構造は身に付きませんので必ず復習や質問をするようにして、解らないままにしないように心がけてください。																																																																		

【授業科目名】		建築材料Ⅰ（授業形態：講義）																																																																														
【教科目名】	建築材料	【単位数】	2 単位																																																																													
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																																																													
【学習時期】	前 期																																																																															
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																																																													
【授業担当者】	勝田 純人 〔実務経験：建設会社にて建築物の施工管理〕																																																																															
【学 習 目 標】	建築物に使用される主な構造材料（木材、鋼材、鉄筋、コンクリートなど）の組成・製法・用途・試験方法・規格などを理解し、利用方法や品質維持管理について習得する。																																																																															
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td colspan="3">授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td colspan="2">材料の概要 1 歴 史 規 格 用途別分類</td><td>オリエンテーション</td></tr><tr><td>2</td><td colspan="3">材料の概要 2 建築と性能、品質</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td colspan="3">木材 1 木材の使われ方 木材の種類と用途</td><td></td></tr><tr><td>4</td><td colspan="3">木材 2 木材の特徴</td><td></td></tr><tr><td>5</td><td colspan="3">木材 3 木取り 規格 等級 集成材</td><td></td></tr><tr><td>6</td><td colspan="3">木材 4 等級 集成材</td><td></td></tr><tr><td>7</td><td colspan="3">コンクリート 1 コンクリートの使われ方</td><td></td></tr><tr><td>8</td><td colspan="2">コンクリート 2 セメント 骨材</td><td>中間試験</td></tr><tr><td>9</td><td colspan="3">コンクリート 3 水 セメント</td><td></td></tr><tr><td>1 0</td><td colspan="3">コンクリート 4 変形 調査設計 耐久性 混和剤</td><td></td></tr><tr><td>1 1</td><td colspan="3">コンクリート 5 コンクリートの種類</td><td></td></tr><tr><td>1 2</td><td colspan="3">コンクリート 6 レミコン プレストコン</td><td></td></tr><tr><td>1 3</td><td colspan="3">鋼材 1 鋼材の使われ方 種類 製鋼と加工</td><td></td></tr><tr><td>1 4</td><td colspan="3">鋼材 2 鋼の性質と用途 規格</td><td></td></tr><tr><td>1 5</td><td colspan="3">鋼材 3 ステンレス鋼</td><td></td></tr></table>			回数	授業内容			1	材料の概要 1 歴 史 規 格 用途別分類		オリエンテーション	2	材料の概要 2 建築と性能、品質				3	木材 1 木材の使われ方 木材の種類と用途				4	木材 2 木材の特徴				5	木材 3 木取り 規格 等級 集成材				6	木材 4 等級 集成材				7	コンクリート 1 コンクリートの使われ方				8	コンクリート 2 セメント 骨材		中間試験	9	コンクリート 3 水 セメント				1 0	コンクリート 4 変形 調査設計 耐久性 混和剤				1 1	コンクリート 5 コンクリートの種類				1 2	コンクリート 6 レミコン プレストコン				1 3	鋼材 1 鋼材の使われ方 種類 製鋼と加工				1 4	鋼材 2 鋼の性質と用途 規格				1 5	鋼材 3 ステンレス鋼			
	回数	授業内容																																																																														
	1	材料の概要 1 歴 史 規 格 用途別分類		オリエンテーション																																																																												
	2	材料の概要 2 建築と性能、品質																																																																														
	3	木材 1 木材の使われ方 木材の種類と用途																																																																														
	4	木材 2 木材の特徴																																																																														
	5	木材 3 木取り 規格 等級 集成材																																																																														
	6	木材 4 等級 集成材																																																																														
	7	コンクリート 1 コンクリートの使われ方																																																																														
	8	コンクリート 2 セメント 骨材		中間試験																																																																												
	9	コンクリート 3 水 セメント																																																																														
	1 0	コンクリート 4 変形 調査設計 耐久性 混和剤																																																																														
	1 1	コンクリート 5 コンクリートの種類																																																																														
	1 2	コンクリート 6 レミコン プレストコン																																																																														
	1 3	鋼材 1 鋼材の使われ方 種類 製鋼と加工																																																																														
	1 4	鋼材 2 鋼の性質と用途 規格																																																																														
	1 5	鋼材 3 ステンレス鋼																																																																														
	【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築・土木施工管理技士																																																																														
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																																															
【教 科 書】	「初めての建築材料」（学芸出版社）																																																																															
【参 考 資 料】	必携建築資料ビジュアルハンドブック（実教出版）																																																																															
【留 意 事 項】	建築材料については教科書を使った基礎知識の習得とともに、実物のサンプルを見て、触れて確認しながら学んでいきます。建築・土木に携わる上で建築材料について知らないとい何も始まらないので各材料をしっかりと覚えることがとても大切になります。																																																																															

【授業科目名】	建築施工Ⅰ（授業形態：講義）																																																		
【教科目名】	建築生産	【単位数】	2 単位																																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																																
【学習時期】	前 期																																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																																
【授業担当者】	勝田 純人 〔実務経験：建設会社にて建築物の施工管理〕																																																		
【学 習 目 標】	施工管理（工程管理、安全管理、施工計画、工程計画など）及び工事監理等の基礎、工事進行の流れや施工技術（木造在来軸組工法・枠組壁構法・鉄筋コンクリート造）を習得する。																																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td colspan="2">授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>建築工事現場のあらまし</td><td>オリエンテーション</td></tr><tr><td>2</td><td colspan="2">建設施工の特徴、施工に関わる人々</td></tr><tr><td>3</td><td colspan="2">工程管理、安全管理、</td></tr><tr><td>4</td><td colspan="2">木造在来軸組み工法による一戸建住宅、施工計画、工程計画</td></tr><tr><td>5</td><td colspan="2">仮設工事、土工事、基礎工事</td></tr><tr><td>6</td><td colspan="2">木材加工、棟上げ</td></tr><tr><td>7</td><td colspan="2">プレカット工法、屋根工事、足場工事、外壁工事</td></tr><tr><td>8</td><td>総復習</td><td>中間試験</td></tr><tr><td>9</td><td colspan="2">内部工事、設備工事、塗装工事、検査・引き渡し、</td></tr><tr><td>10</td><td colspan="2">枠組み壁工法による住宅、枠組み壁工法、施工計画、工程計画</td></tr><tr><td>11</td><td colspan="2">仮設工事、土工事・基礎工事、1階床・壁工事、</td></tr><tr><td>12</td><td colspan="2">2階床・壁工事、小屋組工事、屋根工事、</td></tr><tr><td>13</td><td colspan="2">断熱防湿工事、外壁工事、内部仕上工事</td></tr><tr><td>14</td><td colspan="2">工業化住宅のあらまし</td></tr><tr><td>15</td><td colspan="2">総復習</td></tr></table>			回数	授業内容		1	建築工事現場のあらまし	オリエンテーション	2	建設施工の特徴、施工に関わる人々		3	工程管理、安全管理、		4	木造在来軸組み工法による一戸建住宅、施工計画、工程計画		5	仮設工事、土工事、基礎工事		6	木材加工、棟上げ		7	プレカット工法、屋根工事、足場工事、外壁工事		8	総復習	中間試験	9	内部工事、設備工事、塗装工事、検査・引き渡し、		10	枠組み壁工法による住宅、枠組み壁工法、施工計画、工程計画		11	仮設工事、土工事・基礎工事、1階床・壁工事、		12	2階床・壁工事、小屋組工事、屋根工事、		13	断熱防湿工事、外壁工事、内部仕上工事		14	工業化住宅のあらまし		15	総復習	
回数	授業内容																																																		
1	建築工事現場のあらまし	オリエンテーション																																																	
2	建設施工の特徴、施工に関わる人々																																																		
3	工程管理、安全管理、																																																		
4	木造在来軸組み工法による一戸建住宅、施工計画、工程計画																																																		
5	仮設工事、土工事、基礎工事																																																		
6	木材加工、棟上げ																																																		
7	プレカット工法、屋根工事、足場工事、外壁工事																																																		
8	総復習	中間試験																																																	
9	内部工事、設備工事、塗装工事、検査・引き渡し、																																																		
10	枠組み壁工法による住宅、枠組み壁工法、施工計画、工程計画																																																		
11	仮設工事、土工事・基礎工事、1階床・壁工事、																																																		
12	2階床・壁工事、小屋組工事、屋根工事、																																																		
13	断熱防湿工事、外壁工事、内部仕上工事																																																		
14	工業化住宅のあらまし																																																		
15	総復習																																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士																																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																		
【教 科 書】	初めての建築施工 （学芸出版社） 施工がわかるイラスト建築生産入門（彰国社）																																																		
【参 考 資 料】	必携建築資料ビジュアルハンドブック（実教出版）																																																		
【留 意 事 項】	「建築施工」における施工的業務には、施工管理と工事監理があります。双方の内容についての違いを理解し、根気強く学習しましょう。特に専門用語が多く、予習して講義に臨むことが必要です。疑問点については、質問して理解するようにして下さい。																																																		

【授業科目名】	CAD製図演習 I（授業形態：演習）																																		
【教科目名】	その他	【単位数】	1 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	前 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																
【授業担当者】	赤城 真美江 〔実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計〕																																		
【学 習 目 標】	建築図面を作成する 2 次元 C A D の仕組みを理解するため、C A D の理論（座標系、レイヤー、データ変換など）を学習する。また演習課題を通して C A D で建築図面がかけられるよう C A D 操作の基礎知識と技能の習得を行う。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>オリエンテーション、画面各部の名称・役割</td></tr><tr><td>2</td><td>Jw-Cad のコマンド解説 1（マウスの基本操作・線の引き方等）</td></tr><tr><td>3</td><td>Jw-Cad のコマンド解説 2（伸縮・コーナー・消去・多角形等）</td></tr><tr><td>4</td><td>Jw-Cad のコマンド解説 3（2 線・保存・文字・寸法等）</td></tr><tr><td>5</td><td>Jw-Cad のコマンド解説 4（複写・移動・出力等）</td></tr><tr><td>6</td><td>木構造住宅の書き方 1（配置図）教科書トレース</td></tr><tr><td>7</td><td>木構造住宅の書き方 2（1 階平面図）教科書トレース</td></tr><tr><td>8</td><td>木構造住宅の書き方 3（2 階平面図）教科書トレース</td></tr><tr><td>9</td><td>木構造住宅の書き方 4（矩計図）教科書トレース</td></tr><tr><td>1 0</td><td>RC造の書き方 1（平面図）講義</td></tr><tr><td>1 1</td><td>RC造の書き方 2（平面図）講義</td></tr><tr><td>1 2</td><td>RC造の書き方 3（平面図）演習</td></tr><tr><td>1 3</td><td>RC造の書き方 4（平面図）演習</td></tr><tr><td>1 4</td><td>設計課題の作図演習 1</td></tr><tr><td>1 5</td><td>設計課題の作図演習 2</td></tr></table>			回数	授業内容	1	オリエンテーション、画面各部の名称・役割	2	Jw-Cad のコマンド解説 1（マウスの基本操作・線の引き方等）	3	Jw-Cad のコマンド解説 2（伸縮・コーナー・消去・多角形等）	4	Jw-Cad のコマンド解説 3（2 線・保存・文字・寸法等）	5	Jw-Cad のコマンド解説 4（複写・移動・出力等）	6	木構造住宅の書き方 1（配置図）教科書トレース	7	木構造住宅の書き方 2（1 階平面図）教科書トレース	8	木構造住宅の書き方 3（2 階平面図）教科書トレース	9	木構造住宅の書き方 4（矩計図）教科書トレース	1 0	RC造の書き方 1（平面図）講義	1 1	RC造の書き方 2（平面図）講義	1 2	RC造の書き方 3（平面図）演習	1 3	RC造の書き方 4（平面図）演習	1 4	設計課題の作図演習 1	1 5	設計課題の作図演習 2
	回数	授業内容																																	
	1	オリエンテーション、画面各部の名称・役割																																	
	2	Jw-Cad のコマンド解説 1（マウスの基本操作・線の引き方等）																																	
	3	Jw-Cad のコマンド解説 2（伸縮・コーナー・消去・多角形等）																																	
	4	Jw-Cad のコマンド解説 3（2 線・保存・文字・寸法等）																																	
	5	Jw-Cad のコマンド解説 4（複写・移動・出力等）																																	
	6	木構造住宅の書き方 1（配置図）教科書トレース																																	
	7	木構造住宅の書き方 2（1 階平面図）教科書トレース																																	
	8	木構造住宅の書き方 3（2 階平面図）教科書トレース																																	
	9	木構造住宅の書き方 4（矩計図）教科書トレース																																	
	1 0	RC造の書き方 1（平面図）講義																																	
	1 1	RC造の書き方 2（平面図）講義																																	
	1 2	RC造の書き方 3（平面図）演習																																	
	1 3	RC造の書き方 4（平面図）演習																																	
	1 4	設計課題の作図演習 1																																	
	1 5	設計課題の作図演習 2																																	
【資格との関連】	建築 C A D 検定（2 級・3 級）																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教 科 書】	初めて学ぶ C A D Windows 版 Jw_cad で学ぶ（学芸出版社）																																		
【参 考 資 料】	やさしく学ぶ Jw_cad（エクスナレッジ）																																		
【留 意 事 項】	教科書により基本をしっかりとマスターし、演習で実践します。CAD は習うより慣れる事が大切です。基本操作の反復練習をしっかりと行い、応用的な操作なども併せて覚えましょう。																																		

【授業科目名】	建築測量実習Ⅰ（授業形態：実習）																																																		
【教科目名】	その他	【単位数】	1 単位																																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																																
【学習時期】	前 期																																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	(90 分×1 回+45 分×1 回) ×15 週																																																
【授業担当者】	関口 政志 [実務経験：測量会社にて測量調査]																																																		
【学 習 目 標】	建築に必要な測量学の基礎（測量の分類・測量に使用される単位・建築工事に必要な測量・実習に必要な計算演習）とその測量技術（レベルの操作方法、精度と誤差など）を習得する。																																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td colspan="2">授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>水準測量 1（機器の名称・機器の据え付け）</td><td>オリエンテーション</td></tr><tr><td>2</td><td colspan="2">水準測量 2（器高式作業方法・計算方法）</td></tr><tr><td>3</td><td colspan="2">水準測量 3（作業演習 1－1 昇降式）</td></tr><tr><td>4</td><td colspan="2">水準測量 4（作業演習 1－2 昇降式）</td></tr><tr><td>5</td><td colspan="2">水準測量 5（作業演習 2－1 器高式）</td></tr><tr><td>6</td><td colspan="2">水準測量 6（作業演習 2－2 器高式）</td></tr><tr><td>7</td><td colspan="2">角測量 1（機器の名称・据え付け）</td></tr><tr><td>8</td><td colspan="2">角測量 2（作業演習 1－1 基本編）</td></tr><tr><td>9</td><td colspan="2">角測量 3（作業演習 1－2 基本編）</td></tr><tr><td>1 0</td><td colspan="2">角測量 4（作業演習 1－3 基本編）</td></tr><tr><td>1 1</td><td colspan="2">角測量 5（作業演習 2－1 応用編）</td></tr><tr><td>1 2</td><td colspan="2">角測量 6（作業演習 2－2 応用編）</td></tr><tr><td>1 3</td><td colspan="2">角測量 7（作業演習 2－3 応用編）</td></tr><tr><td>1 4</td><td colspan="2">総括（講義内容のまとめ・整理）</td></tr><tr><td>1 5</td><td colspan="2">総復習</td></tr></table>			回数	授業内容		1	水準測量 1（機器の名称・機器の据え付け）	オリエンテーション	2	水準測量 2（器高式作業方法・計算方法）		3	水準測量 3（作業演習 1－1 昇降式）		4	水準測量 4（作業演習 1－2 昇降式）		5	水準測量 5（作業演習 2－1 器高式）		6	水準測量 6（作業演習 2－2 器高式）		7	角測量 1（機器の名称・据え付け）		8	角測量 2（作業演習 1－1 基本編）		9	角測量 3（作業演習 1－2 基本編）		1 0	角測量 4（作業演習 1－3 基本編）		1 1	角測量 5（作業演習 2－1 応用編）		1 2	角測量 6（作業演習 2－2 応用編）		1 3	角測量 7（作業演習 2－3 応用編）		1 4	総括（講義内容のまとめ・整理）		1 5	総復習	
回数	授業内容																																																		
1	水準測量 1（機器の名称・機器の据え付け）	オリエンテーション																																																	
2	水準測量 2（器高式作業方法・計算方法）																																																		
3	水準測量 3（作業演習 1－1 昇降式）																																																		
4	水準測量 4（作業演習 1－2 昇降式）																																																		
5	水準測量 5（作業演習 2－1 器高式）																																																		
6	水準測量 6（作業演習 2－2 器高式）																																																		
7	角測量 1（機器の名称・据え付け）																																																		
8	角測量 2（作業演習 1－1 基本編）																																																		
9	角測量 3（作業演習 1－2 基本編）																																																		
1 0	角測量 4（作業演習 1－3 基本編）																																																		
1 1	角測量 5（作業演習 2－1 応用編）																																																		
1 2	角測量 6（作業演習 2－2 応用編）																																																		
1 3	角測量 7（作業演習 2－3 応用編）																																																		
1 4	総括（講義内容のまとめ・整理）																																																		
1 5	総復習																																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士 1 級・2 級土木施工管理技士 測量士補																																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																		
【教 科 書】	F i r s t S t a g eシリーズ測量入門（実教出版）																																																		
【参 考 資 料】	やさしい建築数学（学芸出版社）																																																		
【留 意 事 項】	建築現場では、測量機器を扱えることが建築工事の必要条件になりますので、反復練習をしてしっかり覚えましょう。また、現場では危険を伴う為、作業着や安全靴、ヘルメットの着用が必須となります。授業においても同様ですので、作業着や安全靴を必ず着用して授業に臨んで下さい。																																																		

【授業科目名】	建設総合演習A(授業形態:演習)																																		
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	2 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	前 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	(90 分×2 回) ×15 週																																
【授業担当者】	野口 成美 [実務経験：設計事務所で建築物の設計・監理]																																		
【学 習 目 標】	建築施工管理技術者として必要な専門知識（建築学・建築設備・法規・施工管理など）の基本を学習し、2級建築施工管理技士試験（1次検定）合格に向けて準備する。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>建築学① 換気、日照・日影・日射、音響、色彩 等</td></tr><tr><td>2</td><td>建築学② 一般構造、構造力学 等</td></tr><tr><td>3</td><td>建築学③ 建築材料、金属・木質・防水材料 等</td></tr><tr><td>4</td><td>法規① 建築基準法、建築業法、労働基準法 等</td></tr><tr><td>5</td><td>法規② 労働安全衛生法、騒音規制法、消防法 等</td></tr><tr><td>6</td><td>施工管理法① 施工計画、工程計画、工程表、品質管理 等</td></tr><tr><td>7</td><td>施工管理法② 品質改善、試験、検査、作業主任者、足場 等</td></tr><tr><td>8</td><td>総復習 中間試験</td></tr><tr><td>9</td><td>共通 設備、給排水・衛生・空調、電気・照明、消火・防災 等</td></tr><tr><td>10</td><td>施工① 地盤調査、仮設工事、基礎・地業工事 等</td></tr><tr><td>11</td><td>施工② 型枠工事、コンクリート工事、鉄骨工事、木工事 等</td></tr><tr><td>12</td><td>施工③ 防水工事、屋根工事、張り石工事 等</td></tr><tr><td>13</td><td>施工④ タイル、ガラス工事、建具工事 等</td></tr><tr><td>14</td><td>施工⑤ 塗装工事、内装工事、改修工事 等</td></tr><tr><td>15</td><td>総復習</td></tr></table> ※BYOD授業対象とし、小テストや定期試験は各自のデバイスを活用して実施する。			回数	授業内容	1	建築学① 換気、日照・日影・日射、音響、色彩 等	2	建築学② 一般構造、構造力学 等	3	建築学③ 建築材料、金属・木質・防水材料 等	4	法規① 建築基準法、建築業法、労働基準法 等	5	法規② 労働安全衛生法、騒音規制法、消防法 等	6	施工管理法① 施工計画、工程計画、工程表、品質管理 等	7	施工管理法② 品質改善、試験、検査、作業主任者、足場 等	8	総復習 中間試験	9	共通 設備、給排水・衛生・空調、電気・照明、消火・防災 等	10	施工① 地盤調査、仮設工事、基礎・地業工事 等	11	施工② 型枠工事、コンクリート工事、鉄骨工事、木工事 等	12	施工③ 防水工事、屋根工事、張り石工事 等	13	施工④ タイル、ガラス工事、建具工事 等	14	施工⑤ 塗装工事、内装工事、改修工事 等	15	総復習
回数	授業内容																																		
1	建築学① 換気、日照・日影・日射、音響、色彩 等																																		
2	建築学② 一般構造、構造力学 等																																		
3	建築学③ 建築材料、金属・木質・防水材料 等																																		
4	法規① 建築基準法、建築業法、労働基準法 等																																		
5	法規② 労働安全衛生法、騒音規制法、消防法 等																																		
6	施工管理法① 施工計画、工程計画、工程表、品質管理 等																																		
7	施工管理法② 品質改善、試験、検査、作業主任者、足場 等																																		
8	総復習 中間試験																																		
9	共通 設備、給排水・衛生・空調、電気・照明、消火・防災 等																																		
10	施工① 地盤調査、仮設工事、基礎・地業工事 等																																		
11	施工② 型枠工事、コンクリート工事、鉄骨工事、木工事 等																																		
12	施工③ 防水工事、屋根工事、張り石工事 等																																		
13	施工④ タイル、ガラス工事、建具工事 等																																		
14	施工⑤ 塗装工事、内装工事、改修工事 等																																		
15	総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士学科試験 1 級・2 級建築施工管理技士試験																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。																																		
【教 科 書】	2 級建築施工管理技士[学科]問題解説集（建築資料研究社・日建学院） 2 級建築施工管理技士 学科テキスト（建築資料研究社・日建学院）																																		
【参 考 資 料】	必携建築資料（実教出版）																																		
【留 意 事 項】	国家資格試験に直結する授業です。聞き落としや、理解不足のまま進まないようにして下さい。もし分からないことがあった場合は質問をして確認するように心掛けて下さい。正解できなかった練習問題は必ず再度挑戦し、正解が出せるようになるまで何度も頑張ってください。																																		

【授業科目名】	土木総合演習A(授業形態:演習)																																																		
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	2 単位																																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																																
【学習時期】	前 期																																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	(90 分×2 回) ×15 週																																																
【授業担当者】	大野 克典 [実務経験:建築設計事務所にて建築・土木工作物の設計・監理]																																																		
【学 習 目 標】	土木施工管理技術者として必要な専門知識（地質学・材料学・法規・土工事・施工管理など）の基本を学習し、2 級土木施工管理技士試験（1 次検定）合格に向けて準備する。																																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td colspan="2">授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td colspan="2">土木一般編① 土工</td></tr><tr><td>2</td><td colspan="2">土木一般編② コンクリート工</td></tr><tr><td>3</td><td colspan="2">土木一般編③ 基礎工</td></tr><tr><td>4</td><td colspan="2">土木一般編④ 建設機械</td></tr><tr><td>5</td><td colspan="2">土木一般編⑤ 測量</td></tr><tr><td>6</td><td colspan="2">施工管理編① 施工管理の概要</td></tr><tr><td>7</td><td colspan="2">施工管理編② 施工計画・工程管理</td></tr><tr><td>8</td><td>施工管理編③ 安全管理</td><td>中間試験</td></tr><tr><td>9</td><td colspan="2">施工管理編④ 品質管理</td></tr><tr><td>1 0</td><td colspan="2">施工管理編⑤ 環境保全管理・建設副産物対策</td></tr><tr><td>1 1</td><td colspan="2">法規編① 労働基準法・労働安全衛生法</td></tr><tr><td>1 2</td><td colspan="2">法規編② 建設業法・道路法・道路交通法</td></tr><tr><td>1 3</td><td colspan="2">法規編③ 河川法・建築基準法・火薬類取締法</td></tr><tr><td>1 4</td><td colspan="2">法規編④ 騒音規制法・振動規制法・港則法・公共工事標準請負</td></tr><tr><td>1 5</td><td colspan="2">総復習</td></tr></table>			回数	授業内容		1	土木一般編① 土工		2	土木一般編② コンクリート工		3	土木一般編③ 基礎工		4	土木一般編④ 建設機械		5	土木一般編⑤ 測量		6	施工管理編① 施工管理の概要		7	施工管理編② 施工計画・工程管理		8	施工管理編③ 安全管理	中間試験	9	施工管理編④ 品質管理		1 0	施工管理編⑤ 環境保全管理・建設副産物対策		1 1	法規編① 労働基準法・労働安全衛生法		1 2	法規編② 建設業法・道路法・道路交通法		1 3	法規編③ 河川法・建築基準法・火薬類取締法		1 4	法規編④ 騒音規制法・振動規制法・港則法・公共工事標準請負		1 5	総復習	
	回数	授業内容																																																	
	1	土木一般編① 土工																																																	
	2	土木一般編② コンクリート工																																																	
	3	土木一般編③ 基礎工																																																	
	4	土木一般編④ 建設機械																																																	
	5	土木一般編⑤ 測量																																																	
	6	施工管理編① 施工管理の概要																																																	
	7	施工管理編② 施工計画・工程管理																																																	
	8	施工管理編③ 安全管理	中間試験																																																
	9	施工管理編④ 品質管理																																																	
	1 0	施工管理編⑤ 環境保全管理・建設副産物対策																																																	
	1 1	法規編① 労働基準法・労働安全衛生法																																																	
	1 2	法規編② 建設業法・道路法・道路交通法																																																	
	1 3	法規編③ 河川法・建築基準法・火薬類取締法																																																	
	1 4	法規編④ 騒音規制法・振動規制法・港則法・公共工事標準請負																																																	
	1 5	総復習																																																	
※BYOD授業対象とし、小テストや定期試験は各自のデバイスを活用して実施する。																																																			
【資格との関連】	1 級・2 級土木施工管理技士試験																																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																		
【教 科 書】	2 級土木施工管理技士[学科]問題解説集（建築資料研究社・日建学院） 2 級土木施工管理技士 学科テキスト（建築資料研究社・日建学院）																																																		
【参 考 資 料】	土木施工管理技術テキスト【土木一般編・施工管理編・法規編】 （地域開発研究所）																																																		
【留 意 事 項】	自宅では予習、復習を必ず行ってください。特に復習は自分の不得意分野を補う意味で重要です。正解できなかった練習問題は必ず自宅で再度挑戦し、正解が出せるようになるまで頑張ってください。																																																		

学科別教科目（１学年 後期）

◆建築・土木施工コース

	教 科 名	授業科目名
1	建築設計製図	設計製図演習Ⅱ
2	建築力学	構造力学Ⅱ
3	建築一般構造	建築一般構造Ⅱ
4	建築材料	建築材料Ⅱ
5	建築生産	建築施工Ⅱ
6	建築法規	建築法規Ⅰ
7	その他	CAD 製図演習Ⅱ
8	指定科目外	建築職能論
9	指定科目外	建設総合演習 B
10	指定科目外	土木総合演習 B

【授業科目名】	設計製図演習Ⅱ（授業形態：演習）																																		
【教科目名】	建築設計製図	【単位数】	4 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	後 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	(90 分×4 回) ×15 週																																
【授業担当者】	川崎 龍太 [実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計]																																		
【学 習 目 標】	設計製図演習Ⅰで学習した内容を基に、2 階建て木造住宅の自主設計を行い、各自オリジナルの住宅図面を制作する。後半は RC 造事務所ビルの図面を用いて鉄筋コンクリート構造の各図面の役割と図面表現を学習し、トレース課題を作成して理解を深める。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>木造住宅 自主設計 解説</td></tr><tr><td>2</td><td>木造住宅 配置平面図のエスキス</td></tr><tr><td>3</td><td>木造住宅 断面図・立面図のエスキス</td></tr><tr><td>4</td><td>木造住宅 矩計図のエスキス</td></tr><tr><td>5</td><td>木造住宅 配置平面図の製図（演習課題）</td></tr><tr><td>6</td><td>木造住宅 断面図の製図（演習課題）</td></tr><tr><td>7</td><td>木造住宅 立面図の製図（演習課題）</td></tr><tr><td>8</td><td>木造住宅 矩計図の製図（演習課題）</td></tr><tr><td>9</td><td>木造住宅 各伏図のエスキス</td></tr><tr><td>10</td><td>木造住宅 各伏図の製図（演習課題）</td></tr><tr><td>11</td><td>RC造事務所ビル 配置・平面図の解説とトレース（演習課題）</td></tr><tr><td>12</td><td>RC造事務所ビル 立面図の解説とトレース（演習課題）</td></tr><tr><td>13</td><td>RC造事務所ビル 断面図の解説とトレース（演習課題）</td></tr><tr><td>14</td><td>RC造事務所ビル 矩計図の解説とトレース（演習課題）</td></tr><tr><td>15</td><td>RC造事務所ビル 各伏図の解説とトレース（演習課題）</td></tr></table>			回数	授業内容	1	木造住宅 自主設計 解説	2	木造住宅 配置平面図のエスキス	3	木造住宅 断面図・立面図のエスキス	4	木造住宅 矩計図のエスキス	5	木造住宅 配置平面図の製図（演習課題）	6	木造住宅 断面図の製図（演習課題）	7	木造住宅 立面図の製図（演習課題）	8	木造住宅 矩計図の製図（演習課題）	9	木造住宅 各伏図のエスキス	10	木造住宅 各伏図の製図（演習課題）	11	RC造事務所ビル 配置・平面図の解説とトレース（演習課題）	12	RC造事務所ビル 立面図の解説とトレース（演習課題）	13	RC造事務所ビル 断面図の解説とトレース（演習課題）	14	RC造事務所ビル 矩計図の解説とトレース（演習課題）	15	RC造事務所ビル 各伏図の解説とトレース（演習課題）
回数	授業内容																																		
1	木造住宅 自主設計 解説																																		
2	木造住宅 配置平面図のエスキス																																		
3	木造住宅 断面図・立面図のエスキス																																		
4	木造住宅 矩計図のエスキス																																		
5	木造住宅 配置平面図の製図（演習課題）																																		
6	木造住宅 断面図の製図（演習課題）																																		
7	木造住宅 立面図の製図（演習課題）																																		
8	木造住宅 矩計図の製図（演習課題）																																		
9	木造住宅 各伏図のエスキス																																		
10	木造住宅 各伏図の製図（演習課題）																																		
11	RC造事務所ビル 配置・平面図の解説とトレース（演習課題）																																		
12	RC造事務所ビル 立面図の解説とトレース（演習課題）																																		
13	RC造事務所ビル 断面図の解説とトレース（演習課題）																																		
14	RC造事務所ビル 矩計図の解説とトレース（演習課題）																																		
15	RC造事務所ビル 各伏図の解説とトレース（演習課題）																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点を総合して評価します。 課題点は演習課題で評価します。期限内提出は100点満、期限外提出は59点満点で算出し、平均化して点数をつけます。																																		
【教科書】	改訂版 建築製図 基本の基本（学芸出版社）																																		
【参考資料】	初めての建築製図（学芸出版社） 必携建築資料（実教出版）																																		
【留意事項】	課題は提出期限を必ず守るようにしてください。また、未提出が1枚でもあると単位が出せませんので、必ず全て提出して下さい。																																		

【授業科目名】	構造力学Ⅱ（授業形態：講義）																																		
【教科目名】	構造力学	【単位数】	2 単位																																
【学科名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	後 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																
【授業担当者】	大野 克典 〔実務経験：建築設計事務所にて建築物の構造計算〕																																		
【学 習 目 標】	建築物を構成している骨組（柱・梁・壁・床）の応力理論（静定ラーメン、応力算定、応力度、ひずみ度、断面一次・二次モーメント、断面係数、断面二次半径など）を習得する。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>構造物に生じる力 構造物に生じる力の種類</td></tr><tr><td>2</td><td>構造物に生じる力 部材に生じる力の求め方と表し方</td></tr><tr><td>3</td><td>静定梁 単純梁①</td></tr><tr><td>4</td><td>静定梁 単純梁②</td></tr><tr><td>5</td><td>静定梁 片持梁①</td></tr><tr><td>6</td><td>静定梁 片持梁②</td></tr><tr><td>7</td><td>静定ラーメン 片持梁系ラーメン</td></tr><tr><td>8</td><td>中間復習 中間試験</td></tr><tr><td>9</td><td>静定ラーメン 単純梁系ラーメン</td></tr><tr><td>1 0</td><td>静定ラーメン 3 ヒンジラーメン</td></tr><tr><td>1 1</td><td>静定トラス トラス部材に生じる力、節点法</td></tr><tr><td>1 2</td><td>静定トラス 切断法</td></tr><tr><td>1 3</td><td>部材の性質と応力度 構造材料の力学的性質、応力度</td></tr><tr><td>1 4</td><td>部材の性質と応力度 ひずみ度、弾性体の性質、材料の強さと許容応力度</td></tr><tr><td>1 5</td><td>総復習</td></tr></table>			回	授業内容	1	構造物に生じる力 構造物に生じる力の種類	2	構造物に生じる力 部材に生じる力の求め方と表し方	3	静定梁 単純梁①	4	静定梁 単純梁②	5	静定梁 片持梁①	6	静定梁 片持梁②	7	静定ラーメン 片持梁系ラーメン	8	中間復習 中間試験	9	静定ラーメン 単純梁系ラーメン	1 0	静定ラーメン 3 ヒンジラーメン	1 1	静定トラス トラス部材に生じる力、節点法	1 2	静定トラス 切断法	1 3	部材の性質と応力度 構造材料の力学的性質、応力度	1 4	部材の性質と応力度 ひずみ度、弾性体の性質、材料の強さと許容応力度	1 5	総復習
回	授業内容																																		
1	構造物に生じる力 構造物に生じる力の種類																																		
2	構造物に生じる力 部材に生じる力の求め方と表し方																																		
3	静定梁 単純梁①																																		
4	静定梁 単純梁②																																		
5	静定梁 片持梁①																																		
6	静定梁 片持梁②																																		
7	静定ラーメン 片持梁系ラーメン																																		
8	中間復習 中間試験																																		
9	静定ラーメン 単純梁系ラーメン																																		
1 0	静定ラーメン 3 ヒンジラーメン																																		
1 1	静定トラス トラス部材に生じる力、節点法																																		
1 2	静定トラス 切断法																																		
1 3	部材の性質と応力度 構造材料の力学的性質、応力度																																		
1 4	部材の性質と応力度 ひずみ度、弾性体の性質、材料の強さと許容応力度																																		
1 5	総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教 科 書】	改訂版 図説やさしい構造力学																																		
【参 考 資 料】	最新建築構造設計入門新訂版 一力学から設計まで一 （実教出版）																																		
【留 意 事 項】	建築物の構造的安全性を確保することは、「人命と財産を護る」ことにつながります。そのためには力学的な知識とその応用力が必要であり、力の流れを理解して構造的な「安全とは何か」を知ることにより留意してください。																																		

【授業科目名】	建築一般構造Ⅱ（授業形態：講義）																																		
【教科目名】	建築一般構造	【単位数】	2 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	後 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																
【授業担当者】	中野 大希 〔実務経験：建設会社にて建築物の設計・監理〕																																		
【学 習 目 標】	鉄筋コンクリート造の形式と配筋の基本理論、鉄骨構造の特徴、構造形式、接合、骨組み、その他の構造についての特徴や形式、部材名称、構法の基礎理論を習得する。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>鉄筋コンクリート構造 1 原理と特徴</td></tr><tr><td>2</td><td>鉄筋コンクリート構造 2 構造形式 鉄筋とコンクリート 1</td></tr><tr><td>3</td><td>鉄筋コンクリート構造 3 鉄筋とコンクリート 2</td></tr><tr><td>4</td><td>鉄筋コンクリート構造 4 配筋の基本 基礎</td></tr><tr><td>5</td><td>鉄筋コンクリート構造 5 主体 構造計画</td></tr><tr><td>6</td><td>鉄筋コンクリート構造 6 主体 柱 梁</td></tr><tr><td>7</td><td>鉄筋コンクリート構造 7 スラブ 階段 壁</td></tr><tr><td>8</td><td>中間復習 中間試験</td></tr><tr><td>9</td><td>鉄骨構造 1 特徴 構造形式 鋼材</td></tr><tr><td>1 0</td><td>鉄骨構造 2 接合 方法 ボルト接合 溶接接合</td></tr><tr><td>1 1</td><td>鉄骨構造 3 骨組 構造計画 部材 梁 柱</td></tr><tr><td>1 2</td><td>鉄骨構造 4 骨組 筋かい 柱脚 基礎 床組 階段</td></tr><tr><td>1 3</td><td>鉄骨構造 5 耐火被覆</td></tr><tr><td>1 4</td><td>その他の鉄骨構造 軽鋼構造 鋼管構造</td></tr><tr><td>1 5</td><td>総復習</td></tr></table>			回数	授業内容	1	鉄筋コンクリート構造 1 原理と特徴	2	鉄筋コンクリート構造 2 構造形式 鉄筋とコンクリート 1	3	鉄筋コンクリート構造 3 鉄筋とコンクリート 2	4	鉄筋コンクリート構造 4 配筋の基本 基礎	5	鉄筋コンクリート構造 5 主体 構造計画	6	鉄筋コンクリート構造 6 主体 柱 梁	7	鉄筋コンクリート構造 7 スラブ 階段 壁	8	中間復習 中間試験	9	鉄骨構造 1 特徴 構造形式 鋼材	1 0	鉄骨構造 2 接合 方法 ボルト接合 溶接接合	1 1	鉄骨構造 3 骨組 構造計画 部材 梁 柱	1 2	鉄骨構造 4 骨組 筋かい 柱脚 基礎 床組 階段	1 3	鉄骨構造 5 耐火被覆	1 4	その他の鉄骨構造 軽鋼構造 鋼管構造	1 5	総復習
回数	授業内容																																		
1	鉄筋コンクリート構造 1 原理と特徴																																		
2	鉄筋コンクリート構造 2 構造形式 鉄筋とコンクリート 1																																		
3	鉄筋コンクリート構造 3 鉄筋とコンクリート 2																																		
4	鉄筋コンクリート構造 4 配筋の基本 基礎																																		
5	鉄筋コンクリート構造 5 主体 構造計画																																		
6	鉄筋コンクリート構造 6 主体 柱 梁																																		
7	鉄筋コンクリート構造 7 スラブ 階段 壁																																		
8	中間復習 中間試験																																		
9	鉄骨構造 1 特徴 構造形式 鋼材																																		
1 0	鉄骨構造 2 接合 方法 ボルト接合 溶接接合																																		
1 1	鉄骨構造 3 骨組 構造計画 部材 梁 柱																																		
1 2	鉄骨構造 4 骨組 筋かい 柱脚 基礎 床組 階段																																		
1 3	鉄骨構造 5 耐火被覆																																		
1 4	その他の鉄骨構造 軽鋼構造 鋼管構造																																		
1 5	総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。																																		
【教 科 書】	図説 やさしい建築一般構造 （学芸出版社）																																		
【参 考 資 料】	必携建築資料（実教出版）																																		
【留 意 事 項】	授業中は説明している内容を一つずつ良く理解してください。特に専門用語の理解が大切となりますので、理解不足のままですと、建築構造は身に付きませんので必ず質問をし、解らないままにしないようにしてください。																																		

【授業科目名】	建築材料Ⅱ（授業形態：講義）																																		
【教科目名】	建築材料	【単位数】	2 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	後 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																
【授業担当者】	勝田 純人 〔実務経験：建設会社にて建築物の施工管理〕																																		
【学 習 目 標】	建築に使用される仕上げ材料（木、せっこう製品 金属製品、タイル、ガラス、防水材料、塗料など）の特徴（組成・製法・用途・試験方法・規格など）の理解と利用法を習得する。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>木材・竹 木材加工品、造作用集成材、繊維材、竹 他</td></tr><tr><td>2</td><td>セメント・石膏材 セメント系屋根材・ボード類、石膏ボード 他</td></tr><tr><td>3</td><td>金属製品① 非鉄金属（アルミニウム、銅、亜鉛、鉛 他）</td></tr><tr><td>4</td><td>金属製品② 板材、線材、各種金物、金属建具、建具金物 他</td></tr><tr><td>5</td><td>タイル・レンガ・陶器 タイル、レンガ、粘土瓦、衛生陶器</td></tr><tr><td>6</td><td>ガラス 板ガラス、ガラスブロック</td></tr><tr><td>7</td><td>石材 石の分類と性質、採石・加工・仕上げ、人造石</td></tr><tr><td>8</td><td>中間復習 中間試験</td></tr><tr><td>9</td><td>左官 セメントモルタル、石膏プラスター、漆喰、土壁 他</td></tr><tr><td>10</td><td>畳、繊維製品 畳、カーペット、ビニルタイル、壁紙</td></tr><tr><td>11</td><td>プラスチック プラスチックの分類と性質、</td></tr><tr><td>12</td><td>塗料・接着剤 塗料の定義と目的、塗料の分類、接着剤の性質 他</td></tr><tr><td>13</td><td>防水材料 アスファルト防水、シート防水、シーリング材</td></tr><tr><td>14</td><td>防火・耐火・断熱・防音材料 防火・耐火材、断熱・防音材 他</td></tr><tr><td>15</td><td>総復習</td></tr></table>			回数	授業内容	1	木材・竹 木材加工品、造作用集成材、繊維材、竹 他	2	セメント・石膏材 セメント系屋根材・ボード類、石膏ボード 他	3	金属製品① 非鉄金属（アルミニウム、銅、亜鉛、鉛 他）	4	金属製品② 板材、線材、各種金物、金属建具、建具金物 他	5	タイル・レンガ・陶器 タイル、レンガ、粘土瓦、衛生陶器	6	ガラス 板ガラス、ガラスブロック	7	石材 石の分類と性質、採石・加工・仕上げ、人造石	8	中間復習 中間試験	9	左官 セメントモルタル、石膏プラスター、漆喰、土壁 他	10	畳、繊維製品 畳、カーペット、ビニルタイル、壁紙	11	プラスチック プラスチックの分類と性質、	12	塗料・接着剤 塗料の定義と目的、塗料の分類、接着剤の性質 他	13	防水材料 アスファルト防水、シート防水、シーリング材	14	防火・耐火・断熱・防音材料 防火・耐火材、断熱・防音材 他	15	総復習
回数	授業内容																																		
1	木材・竹 木材加工品、造作用集成材、繊維材、竹 他																																		
2	セメント・石膏材 セメント系屋根材・ボード類、石膏ボード 他																																		
3	金属製品① 非鉄金属（アルミニウム、銅、亜鉛、鉛 他）																																		
4	金属製品② 板材、線材、各種金物、金属建具、建具金物 他																																		
5	タイル・レンガ・陶器 タイル、レンガ、粘土瓦、衛生陶器																																		
6	ガラス 板ガラス、ガラスブロック																																		
7	石材 石の分類と性質、採石・加工・仕上げ、人造石																																		
8	中間復習 中間試験																																		
9	左官 セメントモルタル、石膏プラスター、漆喰、土壁 他																																		
10	畳、繊維製品 畳、カーペット、ビニルタイル、壁紙																																		
11	プラスチック プラスチックの分類と性質、																																		
12	塗料・接着剤 塗料の定義と目的、塗料の分類、接着剤の性質 他																																		
13	防水材料 アスファルト防水、シート防水、シーリング材																																		
14	防火・耐火・断熱・防音材料 防火・耐火材、断熱・防音材 他																																		
15	総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。																																		
【教 科 書】	「初めての建築材料」（学芸出版社）																																		
【参 考 資 料】	・ 必携 建築資料ビジュアルハンドブック																																		
【留 意 事 項】	建築材料については基礎知識の習得とともに、実物をサンプル及びカタログ等で確認することが大切です。文字だけで覚えられないようにしてください。																																		

【授業科目名】	建築施工Ⅱ（授業形態：講義）																																		
【教科目名】	建築生産	【単位数】	2 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	後 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																
【授業担当者】	勝田 純人 〔実務経験：建設会社にて建築物の施工管理〕																																		
【学 習 目 標】	施工管理及び工事監理、工事進行の流れ（鉄筋コンクリート造及び鉄骨造の仮設工事、地業工事、土工事、基礎・躯体工事、鉄骨工事、外壁工事、防水工事、内装工事など）を習得する。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>鉄筋コンクリート造の3階建て共同住宅、施工・工程計画</td></tr><tr><td>2</td><td>仮設工事、地業工事、土工事</td></tr><tr><td>3</td><td>基礎工事、1階建て入れ、2・3階建て入れ</td></tr><tr><td>4</td><td>型枠解体工事、外部建具工事</td></tr><tr><td>5</td><td>防水工事、内装工事、外装工事</td></tr><tr><td>6</td><td>鉄骨構造によるオフィスビル、施工・工程計画</td></tr><tr><td>7</td><td>仮設工事、土工事、地業工事</td></tr><tr><td>8</td><td>基礎工事、鉄骨工事、床スラブ工事</td></tr><tr><td>9</td><td>外壁工事、シート防水工事、内装工事</td></tr><tr><td>10</td><td>その他の工事、中間復習</td></tr><tr><td>11</td><td>仮設工事、土工事</td></tr><tr><td>12</td><td>型枠工事、鉄筋工事</td></tr><tr><td>13</td><td>コンクリート工事、鉄骨工事、木工事</td></tr><tr><td>14</td><td>防水工事、仕上工事</td></tr><tr><td>15</td><td>総復習</td></tr></table>			回数	授業内容	1	鉄筋コンクリート造の3階建て共同住宅、施工・工程計画	2	仮設工事、地業工事、土工事	3	基礎工事、1階建て入れ、2・3階建て入れ	4	型枠解体工事、外部建具工事	5	防水工事、内装工事、外装工事	6	鉄骨構造によるオフィスビル、施工・工程計画	7	仮設工事、土工事、地業工事	8	基礎工事、鉄骨工事、床スラブ工事	9	外壁工事、シート防水工事、内装工事	10	その他の工事、中間復習	11	仮設工事、土工事	12	型枠工事、鉄筋工事	13	コンクリート工事、鉄骨工事、木工事	14	防水工事、仕上工事	15	総復習
回数	授業内容																																		
1	鉄筋コンクリート造の3階建て共同住宅、施工・工程計画																																		
2	仮設工事、地業工事、土工事																																		
3	基礎工事、1階建て入れ、2・3階建て入れ																																		
4	型枠解体工事、外部建具工事																																		
5	防水工事、内装工事、外装工事																																		
6	鉄骨構造によるオフィスビル、施工・工程計画																																		
7	仮設工事、土工事、地業工事																																		
8	基礎工事、鉄骨工事、床スラブ工事																																		
9	外壁工事、シート防水工事、内装工事																																		
10	その他の工事、中間復習																																		
11	仮設工事、土工事																																		
12	型枠工事、鉄筋工事																																		
13	コンクリート工事、鉄骨工事、木工事																																		
14	防水工事、仕上工事																																		
15	総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教 科 書】	初めての建築施工 （学芸出版社）																																		
【参 考 資 料】	・必携建築資料ビジュアルハンドブック（実教出版）																																		
【留 意 事 項】	「建築施工」における施工的業務には、施工管理と工事監理があります。双方の内容についての違いを理解し、根気強く学習しましょう。特に専門用語が多く予習して講義に臨むことが必要です。疑問点については、質問して理解するようにして下さい。																																		

【授業科目名】	建築法規Ⅰ（授業形態：講義）																																																		
【教科目名】	建築法規	【単位数】	2 単位																																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																																
【学習時期】	後 期																																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																																
【授業担当者】	赤城 真美江 〔実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計〕																																																		
【学 習 目 標】	建築法規の歴史・役割・体系の理解、建築基準法を中心とした建築関係法規の種類とその内容の把握（建築基準法の用語の定義と面積等の算定及び一般構造など単体規定）と、法令集の利用法を習得する。																																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td colspan="2">授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>建築法規の歴史・役割</td><td>オリエンテーション</td></tr><tr><td>2</td><td>建築法規の体系</td><td>演習</td></tr><tr><td>3</td><td>建築物に関する用語（建築物・工作物の定義等）</td><td>演習</td></tr><tr><td>4</td><td>防火に関する用語 1（各種構造の定義等）</td><td></td></tr><tr><td>5</td><td>防火に関する用語 2（材料、建築物、防火設備の定義等）</td><td>演習</td></tr><tr><td>6</td><td>建築手続きに関する用語（建築、大規模の修繕・模様替え等）</td><td>演習</td></tr><tr><td>7</td><td>面積と高さ 1（面積の算定等）</td><td></td></tr><tr><td>8</td><td>面積と高さ 2（面積の算定等）</td><td>演習</td></tr><tr><td>9</td><td>中間復習</td><td>中間試験</td></tr><tr><td>10</td><td>一般構造 1（採光等）</td><td></td></tr><tr><td>11</td><td>一般構造 2（居室の換気等）</td><td>演習</td></tr><tr><td>12</td><td>一般構造 3（採光・換気演習、各面積算定演習）</td><td></td></tr><tr><td>13</td><td>一般構造 4（石綿等による換気、天井の高さ、床の高さ等）</td><td></td></tr><tr><td>14</td><td>一般構造 5（界壁の遮音、階段と傾斜路等）</td><td>演習</td></tr><tr><td>15</td><td>総復習</td><td></td></tr></table>			回数	授業内容		1	建築法規の歴史・役割	オリエンテーション	2	建築法規の体系	演習	3	建築物に関する用語（建築物・工作物の定義等）	演習	4	防火に関する用語 1（各種構造の定義等）		5	防火に関する用語 2（材料、建築物、防火設備の定義等）	演習	6	建築手続きに関する用語（建築、大規模の修繕・模様替え等）	演習	7	面積と高さ 1（面積の算定等）		8	面積と高さ 2（面積の算定等）	演習	9	中間復習	中間試験	10	一般構造 1（採光等）		11	一般構造 2（居室の換気等）	演習	12	一般構造 3（採光・換気演習、各面積算定演習）		13	一般構造 4（石綿等による換気、天井の高さ、床の高さ等）		14	一般構造 5（界壁の遮音、階段と傾斜路等）	演習	15	総復習	
回数	授業内容																																																		
1	建築法規の歴史・役割	オリエンテーション																																																	
2	建築法規の体系	演習																																																	
3	建築物に関する用語（建築物・工作物の定義等）	演習																																																	
4	防火に関する用語 1（各種構造の定義等）																																																		
5	防火に関する用語 2（材料、建築物、防火設備の定義等）	演習																																																	
6	建築手続きに関する用語（建築、大規模の修繕・模様替え等）	演習																																																	
7	面積と高さ 1（面積の算定等）																																																		
8	面積と高さ 2（面積の算定等）	演習																																																	
9	中間復習	中間試験																																																	
10	一般構造 1（採光等）																																																		
11	一般構造 2（居室の換気等）	演習																																																	
12	一般構造 3（採光・換気演習、各面積算定演習）																																																		
13	一般構造 4（石綿等による換気、天井の高さ、床の高さ等）																																																		
14	一般構造 5（界壁の遮音、階段と傾斜路等）	演習																																																	
15	総復習																																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士																																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																		
【教 科 書】	建築基準法関係法令集 各年度版（建築資料研究社） 改訂版「初めての建築法規」（学芸出版社）																																																		
【参 考 資 料】	建築申請memo（新日本法規出版） 図説やさしい建築法規（学芸出版社）																																																		
【留 意 事 項】	どんな建築物や工作物であっても法律に準じていないと造ることは許されません。また、それらを無視してしまうと法で罰せられますので、しっかり理解して覚えるように心掛けてください。																																																		

【授業科目名】	CAD製図演習Ⅱ（授業形態：演習）																																		
【教科目名】	その他	【単位数】	1 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	後 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																
【授業担当者】	赤城 真美江 〔実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計〕																																		
【学 習 目 標】	C A D（J W W）の基本（各種コマンドの使用方法、作図、印刷）及び応用操作を基に、木造住宅やR C造建築物の設計図作成技法を習得する。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>木造 2 階建住宅図作成 1（1 階平面図） 教科書トレース</td></tr><tr><td>2</td><td>木造 2 階建住宅図作成 2（1 階平面図） 教科書トレース</td></tr><tr><td>3</td><td>木造 2 階建住宅図作成 3（2 階平面図） 教科書トレース</td></tr><tr><td>4</td><td>木造 2 階建住宅図作成 4（屋根伏図） 教科書トレース</td></tr><tr><td>5</td><td>木造 2 階建住宅図作成 5（断面図） 教科書トレース</td></tr><tr><td>6</td><td>木造 2 階建住宅図作成 6（断面図） 教科書トレース</td></tr><tr><td>7</td><td>R C 造部分図作図 1（躯体図 他）</td></tr><tr><td>8</td><td>R C 造部分図作図 2（躯体図 他）</td></tr><tr><td>9</td><td>R C 造部分図作図 3（サッシ回り 他）</td></tr><tr><td>1 0</td><td>R C 造部分図作図 4（基礎図他）</td></tr><tr><td>1 1</td><td>R C 造部分図作図 5（パラペット 他）</td></tr><tr><td>1 2</td><td>R C 造部分図作図 6（部分矩計図 他）</td></tr><tr><td>1 3</td><td>木造 2 階建住宅図作成 7（立面図 1） 教科書トレース</td></tr><tr><td>1 4</td><td>木造 2 階建住宅図作成 8（立面図 2） 教科書トレース</td></tr><tr><td>1 5</td><td>総復習</td></tr></table>			回数	授業内容	1	木造 2 階建住宅図作成 1（1 階平面図） 教科書トレース	2	木造 2 階建住宅図作成 2（1 階平面図） 教科書トレース	3	木造 2 階建住宅図作成 3（2 階平面図） 教科書トレース	4	木造 2 階建住宅図作成 4（屋根伏図） 教科書トレース	5	木造 2 階建住宅図作成 5（断面図） 教科書トレース	6	木造 2 階建住宅図作成 6（断面図） 教科書トレース	7	R C 造部分図作図 1（躯体図 他）	8	R C 造部分図作図 2（躯体図 他）	9	R C 造部分図作図 3（サッシ回り 他）	1 0	R C 造部分図作図 4（基礎図他）	1 1	R C 造部分図作図 5（パラペット 他）	1 2	R C 造部分図作図 6（部分矩計図 他）	1 3	木造 2 階建住宅図作成 7（立面図 1） 教科書トレース	1 4	木造 2 階建住宅図作成 8（立面図 2） 教科書トレース	1 5	総復習
回数	授業内容																																		
1	木造 2 階建住宅図作成 1（1 階平面図） 教科書トレース																																		
2	木造 2 階建住宅図作成 2（1 階平面図） 教科書トレース																																		
3	木造 2 階建住宅図作成 3（2 階平面図） 教科書トレース																																		
4	木造 2 階建住宅図作成 4（屋根伏図） 教科書トレース																																		
5	木造 2 階建住宅図作成 5（断面図） 教科書トレース																																		
6	木造 2 階建住宅図作成 6（断面図） 教科書トレース																																		
7	R C 造部分図作図 1（躯体図 他）																																		
8	R C 造部分図作図 2（躯体図 他）																																		
9	R C 造部分図作図 3（サッシ回り 他）																																		
1 0	R C 造部分図作図 4（基礎図他）																																		
1 1	R C 造部分図作図 5（パラペット 他）																																		
1 2	R C 造部分図作図 6（部分矩計図 他）																																		
1 3	木造 2 階建住宅図作成 7（立面図 1） 教科書トレース																																		
1 4	木造 2 階建住宅図作成 8（立面図 2） 教科書トレース																																		
1 5	総復習																																		
【資格との関連】	建築C A D 検定（2 級、3 級）																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教 科 書】	Jw_cadで学ぶ建築製図の基本（エクスナレッジ）																																		
【参 考 資 料】	初めての建築C A D ～Windows 版 J W _C A D で学ぶ～（学芸出版社）																																		
【留 意 事 項】	課題は期限内に提出されないと採点の対象とならず、成績評価が出来ませんので、特に注意が必要です。また卒業設計でも活用しますので、必ず習得してください。																																		

【授業科目名】	建築職能論(授業形態:演習)																																		
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	1 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	後 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																
【授業担当者】	中野 大希 [実務経験：建設会社にて建築物の設計・監理]																																		
【学 習 目 標】	企業連携授業として、建設業界の第一線で活躍している様々な職種の方々をお招きし、職能体験を直に聴き、幅広い業界の知識や情報を得、理解する事により、自身の進路と職業意識を培う場とします。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>建築現場監督①（ゼネコン） 現場監督業とは</td></tr><tr><td>2</td><td>建築現場監督②（ハウスメーカー） 現場監督業とは</td></tr><tr><td>3</td><td>建築現場監督③（工務店） 現場監督業とは</td></tr><tr><td>4</td><td>建築設計①（組織設計事務所） 設計事務所の設計業とは</td></tr><tr><td>5</td><td>建築設計②（アトリエ設計事務所） 設計事務所の設計業とは</td></tr><tr><td>6</td><td>建築設計③（ハウスメーカー） ハウスメーカーの設計業とは</td></tr><tr><td>7</td><td>職人（大工業） 大工職人の業務とは</td></tr><tr><td>8</td><td>職人（瓦業） 瓦職人の業務とは</td></tr><tr><td>9</td><td>職人（鉄筋組み立て） 鉄筋組み立て職人の業務とは</td></tr><tr><td>1 0</td><td>公務員①（県庁建築専門職） 専門職公務員の業務とは</td></tr><tr><td>1 1</td><td>公務員②（市役所建築専門職） 専門職公務員の業務とは</td></tr><tr><td>1 2</td><td>建築施工会社経営者 建築施工会社の社長業と会社運営とは</td></tr><tr><td>1 3</td><td>建材メーカー経営者 建材メーカーの業務とは</td></tr><tr><td>1 4</td><td>デベロッパー経営者 不動産・建売住宅・賃貸業務とは</td></tr><tr><td>1 5</td><td>林業組合 林業組合の役目と業務紹介 国産材の利用法とは</td></tr></table> ※お招きする講師はその都度依頼をかけてお願いするため、 先方の都合により次の項目は変更になる可能性がある ・担当回が前後 ・担当回が前後 ・講師の役職や業種、職種の変更 ・職人の職種の変更			回数	授業内容	1	建築現場監督①（ゼネコン） 現場監督業とは	2	建築現場監督②（ハウスメーカー） 現場監督業とは	3	建築現場監督③（工務店） 現場監督業とは	4	建築設計①（組織設計事務所） 設計事務所の設計業とは	5	建築設計②（アトリエ設計事務所） 設計事務所の設計業とは	6	建築設計③（ハウスメーカー） ハウスメーカーの設計業とは	7	職人（大工業） 大工職人の業務とは	8	職人（瓦業） 瓦職人の業務とは	9	職人（鉄筋組み立て） 鉄筋組み立て職人の業務とは	1 0	公務員①（県庁建築専門職） 専門職公務員の業務とは	1 1	公務員②（市役所建築専門職） 専門職公務員の業務とは	1 2	建築施工会社経営者 建築施工会社の社長業と会社運営とは	1 3	建材メーカー経営者 建材メーカーの業務とは	1 4	デベロッパー経営者 不動産・建売住宅・賃貸業務とは	1 5	林業組合 林業組合の役目と業務紹介 国産材の利用法とは
回数	授業内容																																		
1	建築現場監督①（ゼネコン） 現場監督業とは																																		
2	建築現場監督②（ハウスメーカー） 現場監督業とは																																		
3	建築現場監督③（工務店） 現場監督業とは																																		
4	建築設計①（組織設計事務所） 設計事務所の設計業とは																																		
5	建築設計②（アトリエ設計事務所） 設計事務所の設計業とは																																		
6	建築設計③（ハウスメーカー） ハウスメーカーの設計業とは																																		
7	職人（大工業） 大工職人の業務とは																																		
8	職人（瓦業） 瓦職人の業務とは																																		
9	職人（鉄筋組み立て） 鉄筋組み立て職人の業務とは																																		
1 0	公務員①（県庁建築専門職） 専門職公務員の業務とは																																		
1 1	公務員②（市役所建築専門職） 専門職公務員の業務とは																																		
1 2	建築施工会社経営者 建築施工会社の社長業と会社運営とは																																		
1 3	建材メーカー経営者 建材メーカーの業務とは																																		
1 4	デベロッパー経営者 不動産・建売住宅・賃貸業務とは																																		
1 5	林業組合 林業組合の役目と業務紹介 国産材の利用法とは																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士学科試験 1 級・2 級建築施工管理技士試験 1 級・2 級土木施工管理技士試験 測量士・測量士補																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。レポート未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教 科 書】	なし（各回毎にプリント等を配布）																																		
【参 考 資 料】	全教科の教科書																																		
【留 意 事 項】	提出されたレポートで出席判定をします。期限内に提出する事と内容が評価に大きく影響しますので、特に注意する必要があります。																																		

【授業科目名】		建設総合演習B(授業形態:演習)																																	
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	2 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	後 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	(90 分×2 回) ×15 週																																
【授業担当者】	野口 成美 [実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計・監理] 原 智樹 [実務経験：住宅会社にて建築物の設計・監理]																																		
【学 習 目 標】	建設総合演習Aで学習した知識を基に、より専門的な知識（建築計画・法規・施工・施工管理など）について学習し、2級建築施工管理技士試験（1次検定）または1級建築施工管理技士（1次検定）合格に向けて準備する。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>建築学① 換気、伝熱結露、日照・日影・日射、採光・照明</td></tr><tr><td>2</td><td>建築学② 音響、色彩、一般構造、基礎構造、RC・S・木造</td></tr><tr><td>3</td><td>建築学③ 構造力学、建築材料、セメント、骨材、コンクリート</td></tr><tr><td>4</td><td>建築学④ 金属・木質・防水材料、石材、その他</td></tr><tr><td>5</td><td>共通① 設備、給排水・衛生・空調、電気・照明</td></tr><tr><td>6</td><td>共通② 消火・防災、その他、積算・測量・舗装</td></tr><tr><td>7</td><td>建築学、共通総復習 小テスト1</td></tr><tr><td>8</td><td>法規① 建築基準法、建築業法、 中間試験</td></tr><tr><td>9</td><td>法規② 労働基準法、労働安全衛生法、その他の法規</td></tr><tr><td>10</td><td>施工管理法① 施工計画、施工計画の概要、施工計画申請・届出</td></tr><tr><td>11</td><td>施工管理法② 工程管理、工程計画、工程表、品質管理</td></tr><tr><td>12</td><td>施工管理法③ 品質改善、試験、検査、その他の品質管理</td></tr><tr><td>13</td><td>施工管理法④ 安全管理、作業主任者、足場</td></tr><tr><td>14</td><td>法規、施工管理法総復習 小テスト2</td></tr><tr><td>15</td><td>全範囲総復習</td></tr></table> ※BYOD授業対象とし、小テストや定期試験は各自のデバイスを活用して実施する。			回数	授業内容	1	建築学① 換気、伝熱結露、日照・日影・日射、採光・照明	2	建築学② 音響、色彩、一般構造、基礎構造、RC・S・木造	3	建築学③ 構造力学、建築材料、セメント、骨材、コンクリート	4	建築学④ 金属・木質・防水材料、石材、その他	5	共通① 設備、給排水・衛生・空調、電気・照明	6	共通② 消火・防災、その他、積算・測量・舗装	7	建築学、共通総復習 小テスト1	8	法規① 建築基準法、建築業法、 中間試験	9	法規② 労働基準法、労働安全衛生法、その他の法規	10	施工管理法① 施工計画、施工計画の概要、施工計画申請・届出	11	施工管理法② 工程管理、工程計画、工程表、品質管理	12	施工管理法③ 品質改善、試験、検査、その他の品質管理	13	施工管理法④ 安全管理、作業主任者、足場	14	法規、施工管理法総復習 小テスト2	15	全範囲総復習
回数	授業内容																																		
1	建築学① 換気、伝熱結露、日照・日影・日射、採光・照明																																		
2	建築学② 音響、色彩、一般構造、基礎構造、RC・S・木造																																		
3	建築学③ 構造力学、建築材料、セメント、骨材、コンクリート																																		
4	建築学④ 金属・木質・防水材料、石材、その他																																		
5	共通① 設備、給排水・衛生・空調、電気・照明																																		
6	共通② 消火・防災、その他、積算・測量・舗装																																		
7	建築学、共通総復習 小テスト1																																		
8	法規① 建築基準法、建築業法、 中間試験																																		
9	法規② 労働基準法、労働安全衛生法、その他の法規																																		
10	施工管理法① 施工計画、施工計画の概要、施工計画申請・届出																																		
11	施工管理法② 工程管理、工程計画、工程表、品質管理																																		
12	施工管理法③ 品質改善、試験、検査、その他の品質管理																																		
13	施工管理法④ 安全管理、作業主任者、足場																																		
14	法規、施工管理法総復習 小テスト2																																		
15	全範囲総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。																																		
【教 科 書】	1 級・2 級建築施工管理技士[学科]問題解説集（建築資料研究社・日建学院） 1 級・2 級建築施工管理技士 学科テキスト（建築資料研究社・日建学院）																																		
【参 考 資 料】	必携建築資料（実教出版）																																		
【留 意 事 項】	国家資格試験に直結する授業です。聞き落としや、理解不足のまま進まないようにして下さい。もし分からないことがあった場合は質問をして確認するように心掛けて下さい。正解できなかった練習問題は必ず再度挑戦し、正解が出せるようになるまで何度も頑張して下さい。																																		

【授業科目名】	土木総合演習B(授業形態:演習)																																		
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	2 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	後 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	(90 分×2 回) ×15 週																																
【授業担当者】	大野 克典 [実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計・監理] 関口 政志 [実務経験：測量事務所にて建築物・土木工作物の測量]																																		
【学 習 目 標】	土木総合演習Aで学習した知識を基に、より専門的な知識（地質学・法規・土工事・施工管理など）について学習し、2級土木施工管理技士試験（1次検定）または1級土木施工管理技士試験（1次検定）合格に向けて準備する。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><th>回数</th><th>授業内容</th></tr><tr><td>1</td><td>土木一般編① 土工</td></tr><tr><td>2</td><td>土木一般編② コンクリート工</td></tr><tr><td>3</td><td>土木一般編③ 基礎工</td></tr><tr><td>4</td><td>土木一般編④ 建設機械</td></tr><tr><td>5</td><td>土木一般編⑤ 測量</td></tr><tr><td>6</td><td>施工管理編① 施工管理の概要</td></tr><tr><td>7</td><td>施工管理編② 施工計画・工程管理</td></tr><tr><td>8</td><td>施工管理編③ 安全管理</td></tr><tr><td>9</td><td>施工管理編④ 品質管理</td></tr><tr><td>10</td><td>施工管理編⑤ 環境保全管理・建設副産物対策</td></tr><tr><td>11</td><td>法規編① 労働基準法・労働安全衛生法</td></tr><tr><td>12</td><td>法規編② 建設業法・道路法・道路交通法</td></tr><tr><td>13</td><td>法規編③ 河川法・建築基準法・火薬類取締法</td></tr><tr><td>14</td><td>法規編④ 騒音規制法・振動規制法・港則法・公共工事標準請負</td></tr><tr><td>15</td><td>総復習</td></tr></table> ※BYOD授業対象とし、小テストや定期試験は各自のデバイスを活用して実施する。			回数	授業内容	1	土木一般編① 土工	2	土木一般編② コンクリート工	3	土木一般編③ 基礎工	4	土木一般編④ 建設機械	5	土木一般編⑤ 測量	6	施工管理編① 施工管理の概要	7	施工管理編② 施工計画・工程管理	8	施工管理編③ 安全管理	9	施工管理編④ 品質管理	10	施工管理編⑤ 環境保全管理・建設副産物対策	11	法規編① 労働基準法・労働安全衛生法	12	法規編② 建設業法・道路法・道路交通法	13	法規編③ 河川法・建築基準法・火薬類取締法	14	法規編④ 騒音規制法・振動規制法・港則法・公共工事標準請負	15	総復習
回数	授業内容																																		
1	土木一般編① 土工																																		
2	土木一般編② コンクリート工																																		
3	土木一般編③ 基礎工																																		
4	土木一般編④ 建設機械																																		
5	土木一般編⑤ 測量																																		
6	施工管理編① 施工管理の概要																																		
7	施工管理編② 施工計画・工程管理																																		
8	施工管理編③ 安全管理																																		
9	施工管理編④ 品質管理																																		
10	施工管理編⑤ 環境保全管理・建設副産物対策																																		
11	法規編① 労働基準法・労働安全衛生法																																		
12	法規編② 建設業法・道路法・道路交通法																																		
13	法規編③ 河川法・建築基準法・火薬類取締法																																		
14	法規編④ 騒音規制法・振動規制法・港則法・公共工事標準請負																																		
15	総復習																																		
【資格との関連】	1 級・2 級土木施工管理技士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教 科 書】	1 級・2 級土木施工管理技士[学科]問題解説集（建築資料研究社・日建学院） 1 級・2 級土木施工管理技士 学科テキスト（建築資料研究社・日建学院）																																		
【参 考 資 料】	土木施工管理技術テキスト【土木一般編・施工管理編・法規編】 （地域開発研究所）																																		
【留 意 事 項】	自宅では予習、復習を必ず行ってください。特に復習は自分の不得意分野を補う意味で重要です。正解できなかった練習問題は必ず自宅で再度挑戦し、正解が出せるようになるまで頑張ってください。																																		

学科別教科目（２学年 前期）

◆建築・土木施工コース

	教 科 名	授業科目名
1	建築環境工学	環境工学Ⅰ
2	建築設備	建築設備Ⅰ
3	建築材料	建築材料実験
4	建築法規	建築法規Ⅱ
5	その他	建築測量実習Ⅱ
6	指定科目外	建設基礎製図演習
7	指定科目外	土木設計演習
8	指定科目外	建設総合演習 C
9	指定科目外	土木総合演習 C
10	指定科目外	3D-CAD演習Ⅰ
11		
12		

【授業科目名】	環境工学 I（授業形態：講義）																																																		
【教科目名】	建築環境工学	【単位数】	2 単位																																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																																
【学習時期】	前 期																																																		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																																
【授業担当者】	佐藤 美律子 〔実務経験：設計事務所にてランドスケープ構造物の設計〕																																																		
【学 習 目 標】	生活を取りまく自然環境や都市環境に関する基本的な要素（用語・単位・気候・空気・伝熱・通風・結露・日照・日射など）の性質と特徴の把握、快適建築環境の創出方法、省エネルギー手法を習得する。																																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td colspan="2">授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>光環境 1（視覚・明視・可視光線）</td><td>オリエンテーション</td></tr><tr><td>2</td><td colspan="2">光環境 2（照度と輝度、昼光）</td></tr><tr><td>3</td><td colspan="2">光環境 3（色温度、光源）</td></tr><tr><td>4</td><td colspan="2">光環境 4（照明計画、グレア、均斉度）</td></tr><tr><td>5</td><td>光環境 5（色彩、色の三属性、表色、色の効果）</td><td>小テスト1</td></tr><tr><td>6</td><td>中間復習</td><td>中間試験</td></tr><tr><td>7</td><td colspan="2">温熱環境 1（温度と熱移動、伝達、伝導、熱貫流量、抵抗）</td></tr><tr><td>8</td><td colspan="2">温熱環境 2（室温と熱負荷）</td></tr><tr><td>9</td><td colspan="2">温熱環境 3（断熱性能、熱容量）</td></tr><tr><td>1 0</td><td colspan="2">温熱環境 4（湿度と結露、空気線図）</td></tr><tr><td>1 1</td><td colspan="2">温熱環境 5（体感温度、環境と人体の熱平衡）</td></tr><tr><td>1 2</td><td colspan="2">温熱環境 6（温熱環境指標）</td></tr><tr><td>1 3</td><td colspan="2">温熱環境 7（太陽と日射、太陽位置）</td></tr><tr><td>1 4</td><td>温熱環境 8（日照、日影、日射取得と遮へい）</td><td>小テスト2</td></tr><tr><td>1 5</td><td colspan="2">総復習</td></tr></table>			回数	授業内容		1	光環境 1（視覚・明視・可視光線）	オリエンテーション	2	光環境 2（照度と輝度、昼光）		3	光環境 3（色温度、光源）		4	光環境 4（照明計画、グレア、均斉度）		5	光環境 5（色彩、色の三属性、表色、色の効果）	小テスト1	6	中間復習	中間試験	7	温熱環境 1（温度と熱移動、伝達、伝導、熱貫流量、抵抗）		8	温熱環境 2（室温と熱負荷）		9	温熱環境 3（断熱性能、熱容量）		1 0	温熱環境 4（湿度と結露、空気線図）		1 1	温熱環境 5（体感温度、環境と人体の熱平衡）		1 2	温熱環境 6（温熱環境指標）		1 3	温熱環境 7（太陽と日射、太陽位置）		1 4	温熱環境 8（日照、日影、日射取得と遮へい）	小テスト2	1 5	総復習	
回数	授業内容																																																		
1	光環境 1（視覚・明視・可視光線）	オリエンテーション																																																	
2	光環境 2（照度と輝度、昼光）																																																		
3	光環境 3（色温度、光源）																																																		
4	光環境 4（照明計画、グレア、均斉度）																																																		
5	光環境 5（色彩、色の三属性、表色、色の効果）	小テスト1																																																	
6	中間復習	中間試験																																																	
7	温熱環境 1（温度と熱移動、伝達、伝導、熱貫流量、抵抗）																																																		
8	温熱環境 2（室温と熱負荷）																																																		
9	温熱環境 3（断熱性能、熱容量）																																																		
1 0	温熱環境 4（湿度と結露、空気線図）																																																		
1 1	温熱環境 5（体感温度、環境と人体の熱平衡）																																																		
1 2	温熱環境 6（温熱環境指標）																																																		
1 3	温熱環境 7（太陽と日射、太陽位置）																																																		
1 4	温熱環境 8（日照、日影、日射取得と遮へい）	小テスト2																																																	
1 5	総復習																																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士																																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																		
【教 科 書】	改訂版 初めての建築環境（学芸出版社）																																																		
【参 考 資 料】	図説 やさしい建築環境（学芸出版社）																																																		
【留 意 事 項】	やみくもに暗記するのではなく、各事象の仕組みを理解することが重要です。周辺知識や各種要因、グラフ数値の根拠など、背景を含めた幅広いことに興味をもって学習するように心がけてください。																																																		

【授業科目名】	建築設備Ⅰ（授業形態：講義）																																		
【教科目名】	建築設備	【単位数】	2 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	前 期																																		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																
【授業担当者】	野口 成美 〔実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計〕																																		
【学 習 目 標】	建築設備の種類（空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備）と概要、空気調和設備の基礎理論（空気負荷、空気調和設備機器材料、換気設備、排煙設備など）、給排水衛生設備の基礎理論（給水、給湯の方式、器具など）を習得する。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>建築設備とは、建築設備の種類と技術 オリエンテーション</td></tr><tr><td>2</td><td>空気調和設備の概要、空調負荷、冷房負荷、暖房負荷</td></tr><tr><td>3</td><td>負荷の計算、湿り空気線図、冷暖房の基本プロセス</td></tr><tr><td>4</td><td>空気調和設備の計画と方式、空気調和設備の構成・計画</td></tr><tr><td>5</td><td>空気調和設備機器と材料（暖房設備）</td></tr><tr><td>6</td><td>空気調和設備機器と材料（熱源設備）</td></tr><tr><td>7</td><td>空気調和設備機器と材料（ポンプと配管） 小テスト 1</td></tr><tr><td>8</td><td>中間復習 中間試験</td></tr><tr><td>9</td><td>空気調和設備機器と材料（ダクト、ターミナル、換気設備）</td></tr><tr><td>10</td><td>排煙設備</td></tr><tr><td>11</td><td>給排水衛生設備の概要、給水設備</td></tr><tr><td>12</td><td>給水設備（上水道施設、給水方式、水の使用量）</td></tr><tr><td>13</td><td>給水設備（給水量の算定、予想給水量） 小テスト 2</td></tr><tr><td>14</td><td>給水設備（タンクの容量と設置高さ、ポンプ能力、給水管）</td></tr><tr><td>15</td><td>総復習</td></tr></table>			回数	授業内容	1	建築設備とは、建築設備の種類と技術 オリエンテーション	2	空気調和設備の概要、空調負荷、冷房負荷、暖房負荷	3	負荷の計算、湿り空気線図、冷暖房の基本プロセス	4	空気調和設備の計画と方式、空気調和設備の構成・計画	5	空気調和設備機器と材料（暖房設備）	6	空気調和設備機器と材料（熱源設備）	7	空気調和設備機器と材料（ポンプと配管） 小テスト 1	8	中間復習 中間試験	9	空気調和設備機器と材料（ダクト、ターミナル、換気設備）	10	排煙設備	11	給排水衛生設備の概要、給水設備	12	給水設備（上水道施設、給水方式、水の使用量）	13	給水設備（給水量の算定、予想給水量） 小テスト 2	14	給水設備（タンクの容量と設置高さ、ポンプ能力、給水管）	15	総復習
回数	授業内容																																		
1	建築設備とは、建築設備の種類と技術 オリエンテーション																																		
2	空気調和設備の概要、空調負荷、冷房負荷、暖房負荷																																		
3	負荷の計算、湿り空気線図、冷暖房の基本プロセス																																		
4	空気調和設備の計画と方式、空気調和設備の構成・計画																																		
5	空気調和設備機器と材料（暖房設備）																																		
6	空気調和設備機器と材料（熱源設備）																																		
7	空気調和設備機器と材料（ポンプと配管） 小テスト 1																																		
8	中間復習 中間試験																																		
9	空気調和設備機器と材料（ダクト、ターミナル、換気設備）																																		
10	排煙設備																																		
11	給排水衛生設備の概要、給水設備																																		
12	給水設備（上水道施設、給水方式、水の使用量）																																		
13	給水設備（給水量の算定、予想給水量） 小テスト 2																																		
14	給水設備（タンクの容量と設置高さ、ポンプ能力、給水管）																																		
15	総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士 建築設備士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教 科 書】	基礎講座 建築設備（学芸出版社）																																		
【参 考 資 料】	初めての建築設備（学芸出版社）																																		
【留 意 事 項】	建築設計・施工管理など実務において必要不可欠な教科です。建築設備の基本的な名称や機能、役割を理解しましょう。また資格取得には重要な教科です。																																		

【授業科目名】	建築材料実験(授業形態:実験)																																		
【教科目名】	建築材料	【単位数】	1 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	前 期																																		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	(90 分×1 回+45 分×1 回) ×15 週																																
【授業担当者】	勝田 純人 [実務経験：建設会社にて建築物の施工管理]																																		
【学 習 目 標】	建築構造材料として使用されるコンクリート（配合計算、配合設計、テストピースの試作、圧縮試験）、鉄筋（引張り試験）、木材（圧縮試験）の力学的特性を構造実験により習得する。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>コンクリートの調合設計（講義、計算）</td></tr><tr><td>2</td><td>①コンクリート試験練り→キャッピング→脱型</td></tr><tr><td>3</td><td>②コンクリート試験練り→キャッピング→脱型</td></tr><tr><td>4</td><td>③コンクリート試験練り→キャッピング→脱型</td></tr><tr><td>5</td><td>④コンクリート試験練り→キャッピング→脱型</td></tr><tr><td>6</td><td>①コンクリート圧縮試験</td></tr><tr><td>7</td><td>②コンクリート圧縮試験</td></tr><tr><td>8</td><td>③コンクリート圧縮試験</td></tr><tr><td>9</td><td>④コンクリート圧縮試験</td></tr><tr><td>10</td><td>①鉄筋引張試験</td></tr><tr><td>11</td><td>②鉄筋引張試験</td></tr><tr><td>12</td><td>③鉄筋引張試験</td></tr><tr><td>13</td><td>①木材圧縮試験</td></tr><tr><td>14</td><td>②木材圧縮試験</td></tr><tr><td>15</td><td>③木材圧縮試験</td></tr></table>			回数	授業内容	1	コンクリートの調合設計（講義、計算）	2	①コンクリート試験練り→キャッピング→脱型	3	②コンクリート試験練り→キャッピング→脱型	4	③コンクリート試験練り→キャッピング→脱型	5	④コンクリート試験練り→キャッピング→脱型	6	①コンクリート圧縮試験	7	②コンクリート圧縮試験	8	③コンクリート圧縮試験	9	④コンクリート圧縮試験	10	①鉄筋引張試験	11	②鉄筋引張試験	12	③鉄筋引張試験	13	①木材圧縮試験	14	②木材圧縮試験	15	③木材圧縮試験
回数	授業内容																																		
1	コンクリートの調合設計（講義、計算）																																		
2	①コンクリート試験練り→キャッピング→脱型																																		
3	②コンクリート試験練り→キャッピング→脱型																																		
4	③コンクリート試験練り→キャッピング→脱型																																		
5	④コンクリート試験練り→キャッピング→脱型																																		
6	①コンクリート圧縮試験																																		
7	②コンクリート圧縮試験																																		
8	③コンクリート圧縮試験																																		
9	④コンクリート圧縮試験																																		
10	①鉄筋引張試験																																		
11	②鉄筋引張試験																																		
12	③鉄筋引張試験																																		
13	①木材圧縮試験																																		
14	②木材圧縮試験																																		
15	③木材圧縮試験																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士 1 級・2 級土木施工管理技士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、レポートを総合して評価します。課題及びレポート未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教 科 書】	必要に応じてプリントを配布																																		
【参 考 資 料】	初めての建築材料 （学芸出版社） 必携建築資料ビジュアルハンドブック （実教出版）																																		
【留 意 事 項】	実験は率先して取り組む必要があります。講義の材料学で学んだ知識を実験で確認する事が大切です。材料の特性を理解して学習しましょう。専門用語が多く材料学を復習して講義・演習に臨むことが必要です。疑問点については、質問して理解するようにして下さい。																																		

【授業科目名】	建築法規Ⅱ（授業形態：講義）																																		
【教科目名】	建築法規	【単位数】	2 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	前 期																																		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																
【授業担当者】	赤城 真美江 〔実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計〕																																		
【学 習 目 標】	建築基準法内容の把握（構造強度・居室の天井高さ・床高・階段・廊下などの単体規定、道路と敷地、容積建ぺい率、高さ制限、防火地域など集団規定）と、法令集の利用法を習得する。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>構造強度 1（建築物の構造耐力、荷重と外力、仕様規定 1 等）</td></tr><tr><td>2</td><td>構造強度 2（仕様規定 2） 演習</td></tr><tr><td>3</td><td>防火と内装制限 1（法 2 2 条地域、耐火建築物とする特建等）</td></tr><tr><td>4</td><td>防火と内装制限 2（防火区画、内装制限等） 演習</td></tr><tr><td>5</td><td>避難 1（避難規定の適用、避難経路、避難階段等）</td></tr><tr><td>6</td><td>避難 2（避難と防災のための設備等） 演習</td></tr><tr><td>7</td><td>建築設備（給排水・空気調和設備、昇降機、避雷設備等） 演習</td></tr><tr><td>8</td><td>中間復習</td></tr><tr><td>9</td><td>道路と敷地（道路の定義、接道義務等）</td></tr><tr><td>1 0</td><td>用途地域、容積・建ぺい率（用途地域の指定、容積率等） 演習</td></tr><tr><td>1 1</td><td>高さ制限 1（絶対高さ、道路斜線制限、隣地斜線制限等）</td></tr><tr><td>1 2</td><td>高さ制限 2（北側斜線制限、日影規制等） 演習</td></tr><tr><td>1 3</td><td>防火地域 1（防火地域内の建築制限）</td></tr><tr><td>1 4</td><td>防火地域 2（準防火地域内の建築制限等） 演習</td></tr><tr><td>1 5</td><td>総復習</td></tr></table>			回数	授業内容	1	構造強度 1（建築物の構造耐力、荷重と外力、仕様規定 1 等）	2	構造強度 2（仕様規定 2） 演習	3	防火と内装制限 1（法 2 2 条地域、耐火建築物とする特建等）	4	防火と内装制限 2（防火区画、内装制限等） 演習	5	避難 1（避難規定の適用、避難経路、避難階段等）	6	避難 2（避難と防災のための設備等） 演習	7	建築設備（給排水・空気調和設備、昇降機、避雷設備等） 演習	8	中間復習	9	道路と敷地（道路の定義、接道義務等）	1 0	用途地域、容積・建ぺい率（用途地域の指定、容積率等） 演習	1 1	高さ制限 1（絶対高さ、道路斜線制限、隣地斜線制限等）	1 2	高さ制限 2（北側斜線制限、日影規制等） 演習	1 3	防火地域 1（防火地域内の建築制限）	1 4	防火地域 2（準防火地域内の建築制限等） 演習	1 5	総復習
回数	授業内容																																		
1	構造強度 1（建築物の構造耐力、荷重と外力、仕様規定 1 等）																																		
2	構造強度 2（仕様規定 2） 演習																																		
3	防火と内装制限 1（法 2 2 条地域、耐火建築物とする特建等）																																		
4	防火と内装制限 2（防火区画、内装制限等） 演習																																		
5	避難 1（避難規定の適用、避難経路、避難階段等）																																		
6	避難 2（避難と防災のための設備等） 演習																																		
7	建築設備（給排水・空気調和設備、昇降機、避雷設備等） 演習																																		
8	中間復習																																		
9	道路と敷地（道路の定義、接道義務等）																																		
1 0	用途地域、容積・建ぺい率（用途地域の指定、容積率等） 演習																																		
1 1	高さ制限 1（絶対高さ、道路斜線制限、隣地斜線制限等）																																		
1 2	高さ制限 2（北側斜線制限、日影規制等） 演習																																		
1 3	防火地域 1（防火地域内の建築制限）																																		
1 4	防火地域 2（準防火地域内の建築制限等） 演習																																		
1 5	総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教 科 書】	「建築基準法関係法令集」各年度版（建築資料研究社） 改訂版「はじめての建築法規」（学芸出版社）																																		
【参 考 資 料】	・ 建築法規用教材（日本建築学会） ・ 建築申請memo（新日本法規出版） ・ 図説やさしい建築法規（学芸出版社）																																		
【留 意 事 項】	関連する教科としては、設計製図演習Ⅰ、設計製図演習Ⅱ、設計製図演習Ⅲ、卒業設計（2 年後期）などがあります。																																		

【授業科目名】	建築測量実習Ⅱ（授業形態：実習）																																		
【教科目名】	その他	【単位数】	1 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	前 期																																		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	(90 分×1 回+45 分×1 回) ×15 週																																
【授業担当者】	関口 政志 [実務経験：測量会社にて測量調査]																																		
【学 習 目 標】	建築に必要な測量学の実習（セオドライトの機構と操作方法、精度と誤差、距離測量、敷地の測量と面積計算、仮想敷地での建物配置と墨出し、遣り方制作）を習得する。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>水準測量の復習（昇降式）作業演習</td></tr><tr><td>2</td><td>水準測量の復習（器高式）作業演習</td></tr><tr><td>3</td><td>角測量の復習 作業演習</td></tr><tr><td>4</td><td>遣り方実習 1（オリエンテーション）</td></tr><tr><td>5</td><td>遣り方実習 2（敷地測量）</td></tr><tr><td>6</td><td>遣り方実習 3（作図・面積計算）</td></tr><tr><td>7</td><td>遣り方実習 4（作業実習 水準測量）</td></tr><tr><td>8</td><td>遣り方実習 5（作業実習 水準測量）</td></tr><tr><td>9</td><td>遣り方実習 6（作業実習 角測量）</td></tr><tr><td>1 0</td><td>遣り方実習 7（作業実習 角測量）</td></tr><tr><td>1 1</td><td>遣り方実習 8（作業実習 遣り方組立て）</td></tr><tr><td>1 2</td><td>遣り方実習 9（作業実習 遣り方組立て）</td></tr><tr><td>1 3</td><td>遣り方実習 1 0（作業実習 遣り方組立て）</td></tr><tr><td>1 4</td><td>遣り方制作 1 1（作業実習 遣り方レポート作成、解体）</td></tr><tr><td>1 5</td><td>総復習</td></tr></table>			回数	授業内容	1	水準測量の復習（昇降式）作業演習	2	水準測量の復習（器高式）作業演習	3	角測量の復習 作業演習	4	遣り方実習 1（オリエンテーション）	5	遣り方実習 2（敷地測量）	6	遣り方実習 3（作図・面積計算）	7	遣り方実習 4（作業実習 水準測量）	8	遣り方実習 5（作業実習 水準測量）	9	遣り方実習 6（作業実習 角測量）	1 0	遣り方実習 7（作業実習 角測量）	1 1	遣り方実習 8（作業実習 遣り方組立て）	1 2	遣り方実習 9（作業実習 遣り方組立て）	1 3	遣り方実習 1 0（作業実習 遣り方組立て）	1 4	遣り方制作 1 1（作業実習 遣り方レポート作成、解体）	1 5	総復習
回数	授業内容																																		
1	水準測量の復習（昇降式）作業演習																																		
2	水準測量の復習（器高式）作業演習																																		
3	角測量の復習 作業演習																																		
4	遣り方実習 1（オリエンテーション）																																		
5	遣り方実習 2（敷地測量）																																		
6	遣り方実習 3（作図・面積計算）																																		
7	遣り方実習 4（作業実習 水準測量）																																		
8	遣り方実習 5（作業実習 水準測量）																																		
9	遣り方実習 6（作業実習 角測量）																																		
1 0	遣り方実習 7（作業実習 角測量）																																		
1 1	遣り方実習 8（作業実習 遣り方組立て）																																		
1 2	遣り方実習 9（作業実習 遣り方組立て）																																		
1 3	遣り方実習 1 0（作業実習 遣り方組立て）																																		
1 4	遣り方制作 1 1（作業実習 遣り方レポート作成、解体）																																		
1 5	総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士 1 級・2 級土木施工管理技士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教 科 書】	F i r s t S t a g eシリーズ 測量入門（実教出版）																																		
【参 考 資 料】	初めての＜建築＞数学（学芸出版社）																																		
【留 意 事 項】	建設現場では、測量機器を扱えることが建築工事の必要条件になりますので、反復練習をしてしっかり覚えましょう。																																		

【授業科目名】	建設基礎製図演習(授業形態:演習)																																		
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	1 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	前 期																																		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																
【授業担当者】	野口 成美 [実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計]																																		
【学 習 目 標】	公園の自主設計を題材として土木構造物について学習します。現場調査から始まり、テーマと敷地の選定、類似施設の研究をした後、フィールド設計や遊具配置計画、地盤整地や高低差の処理など、企画から設計までトータルで学習し、後期に取り組む卒業研究につなげます。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>公園について</td></tr><tr><td>2</td><td>街区公園についての調査①</td></tr><tr><td>3</td><td>街区公園についての調査②</td></tr><tr><td>4</td><td>自主設計 エスキス①</td></tr><tr><td>5</td><td>自主設計 エスキス②</td></tr><tr><td>6</td><td>自主設計 エスキス③</td></tr><tr><td>7</td><td>自主設計 エスキス④</td></tr><tr><td>8</td><td>自主設計 各計画図作図①</td></tr><tr><td>9</td><td>自主設計 各計画図作図②</td></tr><tr><td>1 0</td><td>自主設計 各計画図作図③</td></tr><tr><td>1 1</td><td>自主設計 各計画図作図④</td></tr><tr><td>1 2</td><td>自主設計（公園設計）プレゼン図作図・模型作成①</td></tr><tr><td>1 3</td><td>自主設計（公園設計）プレゼン図作図・模型作成②</td></tr><tr><td>1 4</td><td>自主設計（公園設計）プレゼン図作図・模型作成③</td></tr><tr><td>1 5</td><td>自主設計（公園設計）発表 総まとめ</td></tr></table>			回数	授業内容	1	公園について	2	街区公園についての調査①	3	街区公園についての調査②	4	自主設計 エスキス①	5	自主設計 エスキス②	6	自主設計 エスキス③	7	自主設計 エスキス④	8	自主設計 各計画図作図①	9	自主設計 各計画図作図②	1 0	自主設計 各計画図作図③	1 1	自主設計 各計画図作図④	1 2	自主設計（公園設計）プレゼン図作図・模型作成①	1 3	自主設計（公園設計）プレゼン図作図・模型作成②	1 4	自主設計（公園設計）プレゼン図作図・模型作成③	1 5	自主設計（公園設計）発表 総まとめ
回数	授業内容																																		
1	公園について																																		
2	街区公園についての調査①																																		
3	街区公園についての調査②																																		
4	自主設計 エスキス①																																		
5	自主設計 エスキス②																																		
6	自主設計 エスキス③																																		
7	自主設計 エスキス④																																		
8	自主設計 各計画図作図①																																		
9	自主設計 各計画図作図②																																		
1 0	自主設計 各計画図作図③																																		
1 1	自主設計 各計画図作図④																																		
1 2	自主設計（公園設計）プレゼン図作図・模型作成①																																		
1 3	自主設計（公園設計）プレゼン図作図・模型作成②																																		
1 4	自主設計（公園設計）プレゼン図作図・模型作成③																																		
1 5	自主設計（公園設計）発表 総まとめ																																		
【資格との関連】	1 級・2 級建築施工管理技士 1 級・2 級土木施工管理技士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点を総合して評価します。 課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教 科 書】	はじめてのランドスケープデザイン（学芸出版）																																		
【参 考 資 料】	基本造園詳細図集（オーム社）																																		
【留 意 事 項】	課題は期限内に提出されないと採点の対象とならず、成績評価が出来ませんので、特に注意が必要です。 また、実際の現場調査・見学・実習などを行うため、社会人としてのルール・マナーなどの配慮もするように。																																		

【授業科目名】	土木設計演習(授業形態:演習)																																																		
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	1 単位																																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																																
【学習時期】	前 期																																																		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	(90 分×3 回) ×15 週																																																
【授業担当者】	野口 成美 [実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計]																																																		
【学 習 目 標】	土木工作物をテーマに自主設計をします。現場調査から始まり、テーマと敷地の選定、類似施設の研究をした後、フィールド設計や各種設備の配置計画、地盤整地や高低差の処理など、企画から設計までトータルで学習し、土木計画について深く学習します。																																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><th>回数</th><th colspan="2">授業内容</th></tr><tr><td>1</td><td>土木設計について</td><td>オリエンテーション</td></tr><tr><td>2</td><td colspan="2">テーマの選定</td></tr><tr><td>3</td><td colspan="2">類似施設の調査</td></tr><tr><td>4</td><td>自主設計</td><td>エスキス①</td></tr><tr><td>5</td><td>自主設計</td><td>エスキス②</td></tr><tr><td>6</td><td>自主設計</td><td>エスキス③</td></tr><tr><td>7</td><td>自主設計</td><td>エスキス④</td></tr><tr><td>8</td><td>自主設計</td><td>各計画図作図①</td></tr><tr><td>9</td><td>自主設計</td><td>各計画図作図②</td></tr><tr><td>10</td><td>自主設計</td><td>各計画図作図③</td></tr><tr><td>11</td><td>自主設計</td><td>各計画図作図④</td></tr><tr><td>12</td><td>自主設計</td><td>プレゼン図作図・模型作成①</td></tr><tr><td>13</td><td>自主設計</td><td>プレゼン図作図・模型作成②</td></tr><tr><td>14</td><td>自主設計</td><td>プレゼン図作図・模型作成③</td></tr><tr><td>15</td><td>自主設計</td><td>発表 総まとめ</td></tr></table>			回数	授業内容		1	土木設計について	オリエンテーション	2	テーマの選定		3	類似施設の調査		4	自主設計	エスキス①	5	自主設計	エスキス②	6	自主設計	エスキス③	7	自主設計	エスキス④	8	自主設計	各計画図作図①	9	自主設計	各計画図作図②	10	自主設計	各計画図作図③	11	自主設計	各計画図作図④	12	自主設計	プレゼン図作図・模型作成①	13	自主設計	プレゼン図作図・模型作成②	14	自主設計	プレゼン図作図・模型作成③	15	自主設計	発表 総まとめ
回数	授業内容																																																		
1	土木設計について	オリエンテーション																																																	
2	テーマの選定																																																		
3	類似施設の調査																																																		
4	自主設計	エスキス①																																																	
5	自主設計	エスキス②																																																	
6	自主設計	エスキス③																																																	
7	自主設計	エスキス④																																																	
8	自主設計	各計画図作図①																																																	
9	自主設計	各計画図作図②																																																	
10	自主設計	各計画図作図③																																																	
11	自主設計	各計画図作図④																																																	
12	自主設計	プレゼン図作図・模型作成①																																																	
13	自主設計	プレゼン図作図・模型作成②																																																	
14	自主設計	プレゼン図作図・模型作成③																																																	
15	自主設計	発表 総まとめ																																																	
【資格との関連】	1 級・2 級土木施工管理技士																																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点を総合して評価します。 課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																		
【教 科 書】	なし（授業ごとに参考資料を用意します）																																																		
【参 考 資 料】	はじめてのランドスケープデザイン（学芸出版） 基本造園詳細図集（オーム社）																																																		
【留 意 事 項】	課題は期限内に提出されないと採点の対象とならず、成績評価が出来ませんので、特に注意が必要です。 また、実際の現場調査・見学などを行う際は、社会人としてのルール・マナーなどの配慮を徹底するように。																																																		

【授業科目名】	建設総合演習C（授業形態:演習）																																																		
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	2 単位																																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																																
【学習時期】	前 期																																																		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	(90 分×2 回) ×15 週																																																
【授業担当者】	原 智樹 [実務経験：住宅会社にて住宅の設計]																																																		
【学 習 目 標】	建設総合演習 A・B で学習した知識を基に、より専門的な知識について学習し、1 級建築施工管理技士試験（1 次検定）合格に向けて準備する。																																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td colspan="2">授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>建築学 問題解説①</td><td>オリエンテーション</td></tr><tr><td>2</td><td>建築学 問題解説②</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>建築学 問題解説③</td><td></td></tr><tr><td>4</td><td>施工 問題解説①</td><td></td></tr><tr><td>5</td><td>施工 問題解説②</td><td></td></tr><tr><td>6</td><td>施工 問題解説③</td><td></td></tr><tr><td>7</td><td>共通 問題解説①</td><td></td></tr><tr><td>8</td><td>共通 問題解説②</td><td></td></tr><tr><td>9</td><td>共通 問題解説③</td><td>中間試験</td></tr><tr><td>1 0</td><td>施工管理法 問題解説①</td><td></td></tr><tr><td>1 1</td><td>施工管理法 問題解説②</td><td></td></tr><tr><td>1 2</td><td>施工管理法 問題解説③</td><td></td></tr><tr><td>1 3</td><td>法規 問題解説①</td><td></td></tr><tr><td>1 4</td><td>法規 問題解説②</td><td></td></tr><tr><td>1 5</td><td>法規 問題解説③</td><td></td></tr></table>			回数	授業内容		1	建築学 問題解説①	オリエンテーション	2	建築学 問題解説②		3	建築学 問題解説③		4	施工 問題解説①		5	施工 問題解説②		6	施工 問題解説③		7	共通 問題解説①		8	共通 問題解説②		9	共通 問題解説③	中間試験	1 0	施工管理法 問題解説①		1 1	施工管理法 問題解説②		1 2	施工管理法 問題解説③		1 3	法規 問題解説①		1 4	法規 問題解説②		1 5	法規 問題解説③	
	回数	授業内容																																																	
	1	建築学 問題解説①	オリエンテーション																																																
	2	建築学 問題解説②																																																	
	3	建築学 問題解説③																																																	
	4	施工 問題解説①																																																	
	5	施工 問題解説②																																																	
	6	施工 問題解説③																																																	
	7	共通 問題解説①																																																	
	8	共通 問題解説②																																																	
	9	共通 問題解説③	中間試験																																																
	1 0	施工管理法 問題解説①																																																	
	1 1	施工管理法 問題解説②																																																	
	1 2	施工管理法 問題解説③																																																	
	1 3	法規 問題解説①																																																	
	1 4	法規 問題解説②																																																	
	1 5	法規 問題解説③																																																	
	※BYOD授業対象とし、小テストや定期試験は各自のデバイスを活用して実施する。																																																		
【資格との関連】	1 級・2 級建築施工管理技士																																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																		
【教 科 書】	1 級建築施工管理技士[学科]問題解説集（建築資料研究社・日建学院） 1 級建築施工管理技士 学科テキスト（建築資料研究社・日建学院）																																																		
【参 考 資 料】																																																			
【留 意 事 項】	自宅では予習、復習を必ず行ってください。特に復習は自分の不得意分野を補う意味で重要です。正解できなかった練習問題は必ず自宅で再度挑戦し、正解が出せるようになるまで取り組んでください。																																																		

【授業科目名】	土木総合演習C（授業形態：演習）		
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	2 単位
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース
【学習時期】	前 期		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	(90 分×2 回) ×15 週
【授業担当者】	関口 政志 [実務経験：土木会社にて土木工作物の施工管理]		
【学 習 目 標】	土木総合演習 A・B で学習した知識を基に、より専門的な知識について学習し、1 級土木施工管理技士試験（1 次検定）合格に向けて準備する。		
【授 業 計 画】	回数	授業内容	
	1	建築学 問題解説①	オリエンテーション
	2	建築学 問題解説②	
	3	建築学 問題解説③	
	4	施工 問題解説①	
	5	施工 問題解説②	
	6	施工 問題解説③	
	7	共通 問題解説①	
	8	共通 問題解説②	
	9	共通 問題解説③	中間試験
	1 0	施工管理法 問題解説①	
	1 1	施工管理法 問題解説②	
	1 2	施工管理法 問題解説③	
	1 3	法規 問題解説①	
	1 4	法規 問題解説②	
	1 5	法規 問題解説③	
	※BYOD授業対象とし、小テストや定期試験は各自のデバイスを活用して実施する。		
【資格との関連】	1 級・2 級土木施工管理技士		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。		
【教 科 書】	1 級土木施工管理技士[学科]問題解説集（建築資料研究社・日建学院） 1 級土木施工管理技士 学科テキスト（建築資料研究社・日建学院）		
【参 考 資 料】			
【留 意 事 項】	自宅では予習、復習を必ず行ってください。特に復習は自分の不得意分野を補う意味で重要です。正解できなかった練習問題は必ず自宅で再度挑戦し、正解が出せるようになるまで取り組んでください。		

【授業科目名】	3D－CAD演習Ⅰ（授業形態：演習）																																		
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	1 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	前 期																																		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																
【授業担当者】	内海 貴裕[実務経験：建設会社にて建築物の設計]																																		
【学 習 目 標】	建設業界において多用されている B I M に対応したアーキキャドを用いて 3 D パースなどの作成を習得する。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>オリエンテーション アーキキャドで出来ること</td></tr><tr><td>2</td><td>基本図形の描画（直線、四角形、円、多角形）</td></tr><tr><td>3</td><td>基本図形の描画（数値入力による描画、図形の加工）</td></tr><tr><td>4</td><td>図面の作成（平面図の作成 基本操作の活用、編集と加工）</td></tr><tr><td>5</td><td>プレゼンテーションボードの作成（図面の着彩、レイアウト）</td></tr><tr><td>6</td><td>3 D モデルの作成（基本操作、視点、注状体、錐状体）</td></tr><tr><td>7</td><td>3 D モデルの作成（回転体、3 D パス図形）</td></tr><tr><td>8</td><td>3 D モデルの作成（3 D モデルの編集と加工）</td></tr><tr><td>9</td><td>3 D モデルの作成（家具の作成、レンダリング、テクスチャ）</td></tr><tr><td>1 0</td><td>3 D モデルの作成（家具の作成、光源設定、パースの作成）</td></tr><tr><td>1 1</td><td>3 D モデルの作成（建築物・工作物の作成）</td></tr><tr><td>1 2</td><td>3 D モデルの作成（建築物・工作物の作成）</td></tr><tr><td>1 3</td><td>3 D モデルの作成（建築物・工作物の作成）</td></tr><tr><td>1 4</td><td>3 D モデルの応用（ファイル取り出し、取込み）</td></tr><tr><td>1 5</td><td>3 D モデルの応用（レイアウト）</td></tr></table>			回数	授業内容	1	オリエンテーション アーキキャドで出来ること	2	基本図形の描画（直線、四角形、円、多角形）	3	基本図形の描画（数値入力による描画、図形の加工）	4	図面の作成（平面図の作成 基本操作の活用、編集と加工）	5	プレゼンテーションボードの作成（図面の着彩、レイアウト）	6	3 D モデルの作成（基本操作、視点、注状体、錐状体）	7	3 D モデルの作成（回転体、3 D パス図形）	8	3 D モデルの作成（3 D モデルの編集と加工）	9	3 D モデルの作成（家具の作成、レンダリング、テクスチャ）	1 0	3 D モデルの作成（家具の作成、光源設定、パースの作成）	1 1	3 D モデルの作成（建築物・工作物の作成）	1 2	3 D モデルの作成（建築物・工作物の作成）	1 3	3 D モデルの作成（建築物・工作物の作成）	1 4	3 D モデルの応用（ファイル取り出し、取込み）	1 5	3 D モデルの応用（レイアウト）
回数	授業内容																																		
1	オリエンテーション アーキキャドで出来ること																																		
2	基本図形の描画（直線、四角形、円、多角形）																																		
3	基本図形の描画（数値入力による描画、図形の加工）																																		
4	図面の作成（平面図の作成 基本操作の活用、編集と加工）																																		
5	プレゼンテーションボードの作成（図面の着彩、レイアウト）																																		
6	3 D モデルの作成（基本操作、視点、注状体、錐状体）																																		
7	3 D モデルの作成（回転体、3 D パス図形）																																		
8	3 D モデルの作成（3 D モデルの編集と加工）																																		
9	3 D モデルの作成（家具の作成、レンダリング、テクスチャ）																																		
1 0	3 D モデルの作成（家具の作成、光源設定、パースの作成）																																		
1 1	3 D モデルの作成（建築物・工作物の作成）																																		
1 2	3 D モデルの作成（建築物・工作物の作成）																																		
1 3	3 D モデルの作成（建築物・工作物の作成）																																		
1 4	3 D モデルの応用（ファイル取り出し、取込み）																																		
1 5	3 D モデルの応用（レイアウト）																																		
【資格との関連】	3 次元 CAD 利用技術者試験																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教 科 書】	Archicad26 ではじめる BIM 設計入門（エクスナレッジ）																																		
【参 考 資 料】	はじめての Archicad（GRAPHISOFT） Archicad magic（GRAPHISOFT）																																		
【留 意 事 項】	現在の実務業務において、お客様に提示する図面はほとんどがデジタル化されており、3 D－C A D やプレゼンソフトの習得は必須となってきています。また、実務の 3 D－C A D は B I M に移行していきます。授業中に分からないことがあった場合はすぐに質問して確認してください。																																		

学科別教科目（２学年 後期）

◆建築・土木施工コース

	教 科 名	授業科目名
1	建築計画	建築史
2	建築環境工学	環境工学Ⅱ
3	建築設備	建築設備Ⅱ
4	建築生産	建築積算
5	指定科目外	ドローン測量実習
6	指定科目外	プレゼン演習
7	指定科目外	3D-CAD演習Ⅱ
8	指定科目外	卒業研究Ⅰ
9	指定科目外	卒業研究Ⅱ
10		

【授業科目名】	建 築 史（授業形態：講義）																																																											
【教科目名】	建築計画	【単位数】	1 単位																																																									
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																																									
【学習時期】	後 期																																																											
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	90 分×8 週																																																									
【授業担当者】	原 智樹 [実務経験：住宅会社にて住宅の設計]																																																											
【学 習 目 標】	西洋建築史（西洋古代・中世・近世の建築など）・日本建築史（日本古代・中世・近世の建築、数寄屋建築、宗教建築など）・近代建築史（西洋・日本・戦後など）を中心に、建築物の変遷と建築創造の歴史を習得する。																																																											
【授 業 計 画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th colspan="3">授業内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td><td>西洋建築史 1</td><td>古代</td><td>エジプト・ギリシア建築 他 オリエンテーション</td></tr> <tr> <td>西洋建築史 2</td><td>古代</td><td>ローマ建築</td></tr> <tr> <td rowspan="2">2</td><td>西洋建築史 3</td><td>中世</td><td>ロマネスク・ゴシック建築 他</td></tr> <tr> <td>西洋建築史 4</td><td>近世</td><td>ルネサンス・バロック建築 他</td></tr> <tr> <td rowspan="2">3</td><td>日本建築史 1</td><td>古代</td><td>平安時代の建築、寝殿造 他</td></tr> <tr> <td>日本建築史 2</td><td>中世</td><td>大仏様、禅宋様、中世の民家 他</td></tr> <tr> <td rowspan="2">4</td><td>日本建築史 3</td><td>近世</td><td>城郭建築、書院造 他</td></tr> <tr> <td colspan="2">中間復習</td><td>中間試験</td></tr> <tr> <td rowspan="2">5</td><td>日本建築史 4</td><td>近世</td><td>数寄屋造、近世の神社・民家 他</td></tr> <tr> <td>近代建築史 1</td><td>西洋</td><td>デ・ステイル、フランク・ロイド・ライト 他</td></tr> <tr> <td rowspan="2">6</td><td>近代建築史 2</td><td>西洋</td><td>ル・コルビジエ、M・ファンデル・ローエ他</td></tr> <tr> <td>近代建築史 3</td><td>日本</td><td>戦後の日本建築、ポストモダン建築 他</td></tr> <tr> <td rowspan="2">7</td><td>近代建築史 4</td><td>日本</td><td>洋風建築、辰野金吾、伊東忠太 他</td></tr> <tr> <td>近代建築史 5</td><td>日本</td><td>丹下健三、磯崎新、安藤忠雄 他</td></tr> <tr> <td>8</td><td colspan="3">総復習</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業内容			1	西洋建築史 1	古代	エジプト・ギリシア建築 他 オリエンテーション	西洋建築史 2	古代	ローマ建築	2	西洋建築史 3	中世	ロマネスク・ゴシック建築 他	西洋建築史 4	近世	ルネサンス・バロック建築 他	3	日本建築史 1	古代	平安時代の建築、寝殿造 他	日本建築史 2	中世	大仏様、禅宋様、中世の民家 他	4	日本建築史 3	近世	城郭建築、書院造 他	中間復習		中間試験	5	日本建築史 4	近世	数寄屋造、近世の神社・民家 他	近代建築史 1	西洋	デ・ステイル、フランク・ロイド・ライト 他	6	近代建築史 2	西洋	ル・コルビジエ、M・ファンデル・ローエ他	近代建築史 3	日本	戦後の日本建築、ポストモダン建築 他	7	近代建築史 4	日本	洋風建築、辰野金吾、伊東忠太 他	近代建築史 5	日本	丹下健三、磯崎新、安藤忠雄 他	8	総復習		
回数	授業内容																																																											
1	西洋建築史 1	古代	エジプト・ギリシア建築 他 オリエンテーション																																																									
	西洋建築史 2	古代	ローマ建築																																																									
2	西洋建築史 3	中世	ロマネスク・ゴシック建築 他																																																									
	西洋建築史 4	近世	ルネサンス・バロック建築 他																																																									
3	日本建築史 1	古代	平安時代の建築、寝殿造 他																																																									
	日本建築史 2	中世	大仏様、禅宋様、中世の民家 他																																																									
4	日本建築史 3	近世	城郭建築、書院造 他																																																									
	中間復習		中間試験																																																									
5	日本建築史 4	近世	数寄屋造、近世の神社・民家 他																																																									
	近代建築史 1	西洋	デ・ステイル、フランク・ロイド・ライト 他																																																									
6	近代建築史 2	西洋	ル・コルビジエ、M・ファンデル・ローエ他																																																									
	近代建築史 3	日本	戦後の日本建築、ポストモダン建築 他																																																									
7	近代建築史 4	日本	洋風建築、辰野金吾、伊東忠太 他																																																									
	近代建築史 5	日本	丹下健三、磯崎新、安藤忠雄 他																																																									
8	総復習																																																											
【資格との関連】	一級・二級建築士 インテリアコーディネーター																																																											
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																											
【教 科 書】	図説 建築の歴史 西洋・日本・近代（学芸出版社）																																																											
【参 考 資 料】	コンパクト版建築史【日本・西洋】（建築史編集委員会 編著）																																																											
【留 意 事 項】	この科目は、建築士試験の学科Ⅰ（建築計画）の科目に含まれ 通年出題されています。歴史の中で建築がどの様に関わっていったのか歴史的事実と共に理解する事が重要です。疑問点については、質問して理解するようにして下さい。																																																											

【授業科目名】	環境工学Ⅱ（授業形態：講義）																																																		
【教科目名】	建築環境工学	【単位数】	2 単位																																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																																
【学習時期】	後 期																																																		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																																
【授業担当者】	佐藤 美律子 [実務経験：設計事務所にてランドスケープ構造物の設計]																																																		
【学 習 目 標】	生活を取りまく自然環境や都市環境に関する基本的な要素（室内環境・音環境・都市環境など）の性質と特徴の把握、快適建築環境の創出方法を習得する。																																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td colspan="2">授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td colspan="2">空気環境 1（室内汚染物質、換気の目的）</td></tr><tr><td>2</td><td colspan="2">空気環境 2（許容濃度と必要換気量）</td></tr><tr><td>3</td><td colspan="2">空気環境 3（有効換気量、シックハウス症候群、空気の性質）</td></tr><tr><td>4</td><td colspan="2">空気環境 4（自然換気、換気風量の計算、機械換気）</td></tr><tr><td>5</td><td>空気環境 5（換気計画、換気経路、通風）</td><td>小テスト1</td></tr><tr><td>6</td><td colspan="2">中間復習</td></tr><tr><td>7</td><td colspan="2">音環境 1（音波と音圧、音速と波長、周波数、音の単位）</td></tr><tr><td>8</td><td colspan="2">音環境 2（音のレベル表示、レベルの合成）</td></tr><tr><td>9</td><td colspan="2">音環境 3（聴覚と音の生理・心理、等ラウドネス曲線）</td></tr><tr><td>1 0</td><td colspan="2">音環境 4（音の伝搬、点音源、線音源、面音源）</td></tr><tr><td>1 1</td><td colspan="2">音環境 5（室内の音、吸音、吸音材料・構造）</td></tr><tr><td>1 2</td><td colspan="2">音環境 6（室内の音、遮音、透過率と透過損失、遮音等級）</td></tr><tr><td>1 3</td><td colspan="2">音環境 7（室内の音響、残響、反響、騒音と振動）</td></tr><tr><td>1 4</td><td>地球環境（地球温暖化、大気汚染、水質汚濁）</td><td>小テスト2</td></tr><tr><td>1 5</td><td colspan="2">総復習</td></tr></table>			回数	授業内容		1	空気環境 1（室内汚染物質、換気の目的）		2	空気環境 2（許容濃度と必要換気量）		3	空気環境 3（有効換気量、シックハウス症候群、空気の性質）		4	空気環境 4（自然換気、換気風量の計算、機械換気）		5	空気環境 5（換気計画、換気経路、通風）	小テスト1	6	中間復習		7	音環境 1（音波と音圧、音速と波長、周波数、音の単位）		8	音環境 2（音のレベル表示、レベルの合成）		9	音環境 3（聴覚と音の生理・心理、等ラウドネス曲線）		1 0	音環境 4（音の伝搬、点音源、線音源、面音源）		1 1	音環境 5（室内の音、吸音、吸音材料・構造）		1 2	音環境 6（室内の音、遮音、透過率と透過損失、遮音等級）		1 3	音環境 7（室内の音響、残響、反響、騒音と振動）		1 4	地球環境（地球温暖化、大気汚染、水質汚濁）	小テスト2	1 5	総復習	
	回数	授業内容																																																	
	1	空気環境 1（室内汚染物質、換気の目的）																																																	
	2	空気環境 2（許容濃度と必要換気量）																																																	
	3	空気環境 3（有効換気量、シックハウス症候群、空気の性質）																																																	
	4	空気環境 4（自然換気、換気風量の計算、機械換気）																																																	
	5	空気環境 5（換気計画、換気経路、通風）	小テスト1																																																
	6	中間復習																																																	
	7	音環境 1（音波と音圧、音速と波長、周波数、音の単位）																																																	
	8	音環境 2（音のレベル表示、レベルの合成）																																																	
	9	音環境 3（聴覚と音の生理・心理、等ラウドネス曲線）																																																	
	1 0	音環境 4（音の伝搬、点音源、線音源、面音源）																																																	
	1 1	音環境 5（室内の音、吸音、吸音材料・構造）																																																	
	1 2	音環境 6（室内の音、遮音、透過率と透過損失、遮音等級）																																																	
	1 3	音環境 7（室内の音響、残響、反響、騒音と振動）																																																	
	1 4	地球環境（地球温暖化、大気汚染、水質汚濁）	小テスト2																																																
	1 5	総復習																																																	
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士																																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出、小テスト未受験者は評価が悪くなりますので注意して下さい。																																																		
【教 科 書】	改訂版 初めての建築環境（学芸出版社）																																																		
【参 考 資 料】	図説 やさしい建築環境（学芸出版社）																																																		
【留 意 事 項】	やみくもに暗記するのではなく、各事象の仕組みを理解することが重要です。周辺知識や各種要因、グラフ数値の根拠など、背景を含めた幅広いことに興味をもって学習するように心がけてください。																																																		

【授業科目名】	建築設備Ⅱ（授業形態：講義）																																		
【教科目名】	建築設備	【単位数】	2 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	後 期																																		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																
【授業担当者】	野口 成美 〔実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計〕																																		
【学 習 目 標】	給排水衛生設備（概要、給水設備、給湯設備、排水通気設備、衛生器具、消火設備、し尿浄化槽設備など）と電気設備の（概要、電力設備、照明設備など）基礎理論と計画を習得する。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>給湯設備（湯の基本的性質、給湯温度・給湯量）</td></tr><tr><td>2</td><td>給湯設備（給湯方式、給湯器能力、タンク容量と加熱器能力）</td></tr><tr><td>3</td><td>給湯設備（ポンプ、給湯配管と材料、保温材料）</td></tr><tr><td>4</td><td>排水・通気設備（排水の種類・方式、排水通気の系統）</td></tr><tr><td>5</td><td>排水・通気設備（排水管径計算、排水トラップとタンク）</td></tr><tr><td>6</td><td>排水・通気設備（通気方式、通気管と管径、配管方法）</td></tr><tr><td>7</td><td>衛生器具（器具の種類と材質、所要個数）、防火対象物、</td></tr><tr><td>8</td><td>消火設備（消火設備の種類、屋内消火栓、他）</td></tr><tr><td>9</td><td>し尿浄化設備（下水道の種類、汚水処理の基本）</td></tr><tr><td>10</td><td>電気設備概要（電力設備の種類と関連法規）</td></tr><tr><td>11</td><td>電力設備（電気の基礎知識、受変電設備、配線、電気機器の制御）</td></tr><tr><td>12</td><td>照明設備（照明の基礎知識、方式、器具）</td></tr><tr><td>13</td><td>通信情報設備（電話、インターホン、警報設備）</td></tr><tr><td>14</td><td>昇降機設備（エレベーター、エスカレーター）</td></tr><tr><td>15</td><td>総復習</td></tr></table> 小テスト 3			回数	授業内容	1	給湯設備（湯の基本的性質、給湯温度・給湯量）	2	給湯設備（給湯方式、給湯器能力、タンク容量と加熱器能力）	3	給湯設備（ポンプ、給湯配管と材料、保温材料）	4	排水・通気設備（排水の種類・方式、排水通気の系統）	5	排水・通気設備（排水管径計算、排水トラップとタンク）	6	排水・通気設備（通気方式、通気管と管径、配管方法）	7	衛生器具（器具の種類と材質、所要個数）、防火対象物、	8	消火設備（消火設備の種類、屋内消火栓、他）	9	し尿浄化設備（下水道の種類、汚水処理の基本）	10	電気設備概要（電力設備の種類と関連法規）	11	電力設備（電気の基礎知識、受変電設備、配線、電気機器の制御）	12	照明設備（照明の基礎知識、方式、器具）	13	通信情報設備（電話、インターホン、警報設備）	14	昇降機設備（エレベーター、エスカレーター）	15	総復習
回数	授業内容																																		
1	給湯設備（湯の基本的性質、給湯温度・給湯量）																																		
2	給湯設備（給湯方式、給湯器能力、タンク容量と加熱器能力）																																		
3	給湯設備（ポンプ、給湯配管と材料、保温材料）																																		
4	排水・通気設備（排水の種類・方式、排水通気の系統）																																		
5	排水・通気設備（排水管径計算、排水トラップとタンク）																																		
6	排水・通気設備（通気方式、通気管と管径、配管方法）																																		
7	衛生器具（器具の種類と材質、所要個数）、防火対象物、																																		
8	消火設備（消火設備の種類、屋内消火栓、他）																																		
9	し尿浄化設備（下水道の種類、汚水処理の基本）																																		
10	電気設備概要（電力設備の種類と関連法規）																																		
11	電力設備（電気の基礎知識、受変電設備、配線、電気機器の制御）																																		
12	照明設備（照明の基礎知識、方式、器具）																																		
13	通信情報設備（電話、インターホン、警報設備）																																		
14	昇降機設備（エレベーター、エスカレーター）																																		
15	総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士 建築設備士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は評価の対象になりませんので注意して下さい。																																		
【教 科 書】	基礎講座 建築設備（学芸出版社）																																		
【参 考 資 料】	初めての建築設備（学芸出版社）																																		
【留 意 事 項】	建築の設計・施工管理などの実務において必要不可欠な教科です。建築設備の基本的な名称や機能、役割を理解しましょう。また資格取得には重要な教科です。																																		

【授業科目名】	建築積算(授業形態:講義)																																																		
【教科目名】	建築生産	【単位数】	2 単位																																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																																
【学習時期】	後 期																																																		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																																
【授業担当者】	中野 大希 [実務経験：建設会社にて建築物の設計・施工監理]																																																		
【学 習 目 標】	建築物・土木工作物の計画図、設計図、仕様書などを読み解き、必要な建設材料数の拾い出しのやり方、数量の計算方法ならびに竣工するまでに必要な建設費用の算出等の知識を習得する。																																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td colspan="2">授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>建築積算とは、建築生産プロセス</td><td>オリエンテーション</td></tr><tr><td>2</td><td>入札とは、積算業務の概要、設計図書とは、工事費の構成</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>建築コストにおける数量と単価、内訳書</td><td></td></tr><tr><td>4</td><td>建築数量積算基準、数量の計測計算（躯体）</td><td></td></tr><tr><td>5</td><td>数量の計測・計算（土工）（独立基礎）（布基礎）</td><td></td></tr><tr><td>6</td><td>数量の計測・計算（基礎柱）（基礎梁）（柱）</td><td></td></tr><tr><td>7</td><td>数量の計測・計算（大梁）（小梁）</td><td></td></tr><tr><td>8</td><td>総復習</td><td>中間試験</td></tr><tr><td>9</td><td>数量の計測・計算（床板）（壁）（仕上）</td><td></td></tr><tr><td>1 0</td><td>内部仕上、インテリア、内部仕上の数量積算</td><td></td></tr><tr><td>1 1</td><td>内部仕上の数量積算、内部仕上の集計</td><td></td></tr><tr><td>1 2</td><td>仮設工事の積算、設備工事の積算</td><td></td></tr><tr><td>1 3</td><td>木工事の積算</td><td></td></tr><tr><td>1 4</td><td>模擬入札</td><td></td></tr><tr><td>1 5</td><td>総復習</td><td></td></tr></table>			回数	授業内容		1	建築積算とは、建築生産プロセス	オリエンテーション	2	入札とは、積算業務の概要、設計図書とは、工事費の構成		3	建築コストにおける数量と単価、内訳書		4	建築数量積算基準、数量の計測計算（躯体）		5	数量の計測・計算（土工）（独立基礎）（布基礎）		6	数量の計測・計算（基礎柱）（基礎梁）（柱）		7	数量の計測・計算（大梁）（小梁）		8	総復習	中間試験	9	数量の計測・計算（床板）（壁）（仕上）		1 0	内部仕上、インテリア、内部仕上の数量積算		1 1	内部仕上の数量積算、内部仕上の集計		1 2	仮設工事の積算、設備工事の積算		1 3	木工事の積算		1 4	模擬入札		1 5	総復習	
回数	授業内容																																																		
1	建築積算とは、建築生産プロセス	オリエンテーション																																																	
2	入札とは、積算業務の概要、設計図書とは、工事費の構成																																																		
3	建築コストにおける数量と単価、内訳書																																																		
4	建築数量積算基準、数量の計測計算（躯体）																																																		
5	数量の計測・計算（土工）（独立基礎）（布基礎）																																																		
6	数量の計測・計算（基礎柱）（基礎梁）（柱）																																																		
7	数量の計測・計算（大梁）（小梁）																																																		
8	総復習	中間試験																																																	
9	数量の計測・計算（床板）（壁）（仕上）																																																		
1 0	内部仕上、インテリア、内部仕上の数量積算																																																		
1 1	内部仕上の数量積算、内部仕上の集計																																																		
1 2	仮設工事の積算、設備工事の積算																																																		
1 3	木工事の積算																																																		
1 4	模擬入札																																																		
1 5	総復習																																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士 建築積算士補																																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は評価の対象になりませんので注意して下さい。																																																		
【教 科 書】	建築積算（日本建築積算協会）																																																		
【参 考 資 料】	初めての建築積算（学芸出版社）																																																		
【留 意 事 項】	建築法規・構造力学・建築一般構造・建築施工・建築材料などの教科と関連付けながら、積算を理解し、実際に積算書を記入することにより理解しましょう。																																																		

【授業科目名】	ドローン測量実習(授業形態:実習)																																
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	1 単位																														
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																														
【学習時期】	後 期																																
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																														
【授業担当者】	関口 政志 [実務経験：測量事務所にて建物・土木工作物・敷地の測量]																																
【学 習 目 標】	ドローンの操縦を覚えた上で、実際に飛ばして敷地の測量を行い、面積計算や土量計算のデータを算出する。。																																
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>ドローン測量とは（オリエンテーション）</td></tr><tr><td>2</td><td>ドローン測量と手測量の違い</td></tr><tr><td>3</td><td>建設DXについて</td></tr><tr><td>4</td><td>ドローンの仕組み</td></tr><tr><td>5</td><td>ドローンの飛ばし方①</td></tr><tr><td>6</td><td>ドローンの飛ばし方②</td></tr><tr><td>7</td><td>ドローン操作練習①</td></tr><tr><td>8</td><td>ドローン操作練習②</td></tr><tr><td>9</td><td>ドローン操作練習③</td></tr><tr><td>10</td><td>ドローン測量①-1 平面測量</td></tr><tr><td>11</td><td>ドローン測量①-2 平面測量</td></tr><tr><td>12</td><td>ドローン測量②-1 質量測量</td></tr><tr><td>13</td><td>ドローン測量②-2 質量測量</td></tr><tr><td>14</td><td>総復習</td></tr></table>			回数	授業内容	1	ドローン測量とは（オリエンテーション）	2	ドローン測量と手測量の違い	3	建設DXについて	4	ドローンの仕組み	5	ドローンの飛ばし方①	6	ドローンの飛ばし方②	7	ドローン操作練習①	8	ドローン操作練習②	9	ドローン操作練習③	10	ドローン測量①-1 平面測量	11	ドローン測量①-2 平面測量	12	ドローン測量②-1 質量測量	13	ドローン測量②-2 質量測量	14	総復習
回数	授業内容																																
1	ドローン測量とは（オリエンテーション）																																
2	ドローン測量と手測量の違い																																
3	建設DXについて																																
4	ドローンの仕組み																																
5	ドローンの飛ばし方①																																
6	ドローンの飛ばし方②																																
7	ドローン操作練習①																																
8	ドローン操作練習②																																
9	ドローン操作練習③																																
10	ドローン測量①-1 平面測量																																
11	ドローン測量①-2 平面測量																																
12	ドローン測量②-1 質量測量																																
13	ドローン測量②-2 質量測量																																
14	総復習																																
【資格との関連】	測量士補・測量士 ドローン操縦士																																
【成績評価方法】	授業の取り組み姿勢と出席点、測量データの精度等で総合的に評価します。																																
【教 科 書】	なし（学科オリジナルの資料を用意）																																
【参 考 資 料】	測量士補・測量士試験対策テキスト（日建学院） ドローン測量ガイドブック（各種）																																
【留 意 事 項】	雨天時は屋内等で実施します。 1・2月は寒い為、防寒着を着用のこと。																																

【授業科目名】	プレゼン演習(授業形態:演習)																																		
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	1 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	後 期																																		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																
【授業担当者】	内海 貴裕 [実務経験：建設会社にて建築物の設計]																																		
【学 習 目 標】	フォトショップを用いた写真合成・イラストレーターを用いた建築・土木構築物などの完成予想図・プレゼンテーションの制作など、デジタル処理実習を通して、具体的制作のプロセスを習得する。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>オリエンテーション フォトショップとイラストレーターで学ぶこと</td></tr><tr><td>2</td><td>第1章 画像の基本概念(解像度・カラーモード・ファイル形式)</td></tr><tr><td>3</td><td>第1章 フォトショップとイラストレーターの使い分け</td></tr><tr><td>4</td><td>第2章 図面に使えるテクニック(CAD図の変換・操作)</td></tr><tr><td>5</td><td>第2章 図面に使えるテクニック(CAD図の加工)</td></tr><tr><td>6</td><td>第3章 建築写真に使えるテクニック(色、背景の変更・色調の補正の方法)</td></tr><tr><td>7</td><td>第3章 写真の加工(コピースタンプツール・パッチツール)</td></tr><tr><td>8</td><td>第3章 写真の加工(スポット修復ブラシ・パスとスポット修復ブラシ)</td></tr><tr><td>9</td><td>第3章 写真の補正、画像の作成(パノラマ等)</td></tr><tr><td>10</td><td>第4章 建築パースに使えるテクニック(写真の切り抜き・合成の方法)</td></tr><tr><td>11</td><td>第4章 写真の合成(樹木・人物の切り抜き、写真の合成)</td></tr><tr><td>12</td><td>第4章 光の表現方法(自然光・照明器具・レンズフレア、他)</td></tr><tr><td>13</td><td>第5章 プレゼンシートに使えるテクニック(ロゴの作成、レイアウトの方法)</td></tr><tr><td>14</td><td>第5章 ロゴ(下絵のトレース・曲線の書き方、他)</td></tr><tr><td>15</td><td>第5章 レイアウト(画像の配置やテキスト等の操作・プリント方法)</td></tr></table> ※第1章：イラストレーター・フォトショップ 第2章：イラストレーター、第3章・4章：フォトショップ 第5章：イラストレーター及びフォトショップ			回数	授業内容	1	オリエンテーション フォトショップとイラストレーターで学ぶこと	2	第1章 画像の基本概念(解像度・カラーモード・ファイル形式)	3	第1章 フォトショップとイラストレーターの使い分け	4	第2章 図面に使えるテクニック(CAD図の変換・操作)	5	第2章 図面に使えるテクニック(CAD図の加工)	6	第3章 建築写真に使えるテクニック(色、背景の変更・色調の補正の方法)	7	第3章 写真の加工(コピースタンプツール・パッチツール)	8	第3章 写真の加工(スポット修復ブラシ・パスとスポット修復ブラシ)	9	第3章 写真の補正、画像の作成(パノラマ等)	10	第4章 建築パースに使えるテクニック(写真の切り抜き・合成の方法)	11	第4章 写真の合成(樹木・人物の切り抜き、写真の合成)	12	第4章 光の表現方法(自然光・照明器具・レンズフレア、他)	13	第5章 プレゼンシートに使えるテクニック(ロゴの作成、レイアウトの方法)	14	第5章 ロゴ(下絵のトレース・曲線の書き方、他)	15	第5章 レイアウト(画像の配置やテキスト等の操作・プリント方法)
回数	授業内容																																		
1	オリエンテーション フォトショップとイラストレーターで学ぶこと																																		
2	第1章 画像の基本概念(解像度・カラーモード・ファイル形式)																																		
3	第1章 フォトショップとイラストレーターの使い分け																																		
4	第2章 図面に使えるテクニック(CAD図の変換・操作)																																		
5	第2章 図面に使えるテクニック(CAD図の加工)																																		
6	第3章 建築写真に使えるテクニック(色、背景の変更・色調の補正の方法)																																		
7	第3章 写真の加工(コピースタンプツール・パッチツール)																																		
8	第3章 写真の加工(スポット修復ブラシ・パスとスポット修復ブラシ)																																		
9	第3章 写真の補正、画像の作成(パノラマ等)																																		
10	第4章 建築パースに使えるテクニック(写真の切り抜き・合成の方法)																																		
11	第4章 写真の合成(樹木・人物の切り抜き、写真の合成)																																		
12	第4章 光の表現方法(自然光・照明器具・レンズフレア、他)																																		
13	第5章 プレゼンシートに使えるテクニック(ロゴの作成、レイアウトの方法)																																		
14	第5章 ロゴ(下絵のトレース・曲線の書き方、他)																																		
15	第5章 レイアウト(画像の配置やテキスト等の操作・プリント方法)																																		
【資格との関連】																																			
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教 科 書】	建築とインテリアのための Photoshop+Illustrator テクニック (エクスナレッジムック)																																		
【参 考 資 料】	ラクラク建築パース作成マニュアル (エクスナレッジムック)																																		
【留 意 事 項】	画像編集ソフトはプレゼンテーションでは重要なツールです。在学中においても卒業設計などの授業で多く利用されます。例えば 3D-CAD で作成した図面をプレゼンテーション作品として完成させる時など利用価値が高くなります。																																		

【授業科目名】	3D－CAD演習Ⅱ（授業形態：演習）																																		
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	1 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	後 期																																		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	90 分×15 週																																
【授業担当者】	内海 貴裕 〔実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計〕																																		
【学 習 目 標】	Archicad を用いて前期で習得した基本入力を基に、3 D パースや動画、ウォークスルーなどの技法を習得する。また、後期で行う卒業研究の題材を制作し、卒業研究発表会でのプレゼンに活かしてゆく。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><td>回数</td><td>授業内容</td></tr><tr><td>1</td><td>オリエンテーション Archicadの応用編</td></tr><tr><td>2</td><td>3 Dモデルの作成（特殊建築物の入力1）</td></tr><tr><td>3</td><td>3 Dモデルの作成（特殊建築物の入力2）</td></tr><tr><td>4</td><td>3 Dモデルの作成（特殊建築物の入力3）</td></tr><tr><td>5</td><td>3 Dモデルの作成（特殊建築物の入力4）</td></tr><tr><td>6</td><td>3 Dモデルの作成（高度なレンダリング）</td></tr><tr><td>7</td><td>3 Dモデルの作成（動画の作成）</td></tr><tr><td>8</td><td>3 Dモデルの作成（卒業研究の題材入力1）</td></tr><tr><td>9</td><td>3 Dモデルの作成（卒業研究の題材入力2）</td></tr><tr><td>1 0</td><td>3 Dモデルの作成（卒業研究の題材入力3）</td></tr><tr><td>1 1</td><td>3 Dモデルの作成（卒業研究の題材入力4）</td></tr><tr><td>1 2</td><td>3 Dモデルの作成（卒業研究の題材レンダリング）</td></tr><tr><td>1 3</td><td>3 Dモデルの作成（卒業研究の題材 動画作成1）</td></tr><tr><td>1 4</td><td>3 Dモデルの応用（卒業研究の題材 動画作成2）</td></tr><tr><td>1 5</td><td>3 Dモデルの応用（卒業研究の題材 プレゼン）</td></tr></table>			回数	授業内容	1	オリエンテーション Archicadの応用編	2	3 Dモデルの作成（特殊建築物の入力1）	3	3 Dモデルの作成（特殊建築物の入力2）	4	3 Dモデルの作成（特殊建築物の入力3）	5	3 Dモデルの作成（特殊建築物の入力4）	6	3 Dモデルの作成（高度なレンダリング）	7	3 Dモデルの作成（動画の作成）	8	3 Dモデルの作成（卒業研究の題材入力1）	9	3 Dモデルの作成（卒業研究の題材入力2）	1 0	3 Dモデルの作成（卒業研究の題材入力3）	1 1	3 Dモデルの作成（卒業研究の題材入力4）	1 2	3 Dモデルの作成（卒業研究の題材レンダリング）	1 3	3 Dモデルの作成（卒業研究の題材 動画作成1）	1 4	3 Dモデルの応用（卒業研究の題材 動画作成2）	1 5	3 Dモデルの応用（卒業研究の題材 プレゼン）
回数	授業内容																																		
1	オリエンテーション Archicadの応用編																																		
2	3 Dモデルの作成（特殊建築物の入力1）																																		
3	3 Dモデルの作成（特殊建築物の入力2）																																		
4	3 Dモデルの作成（特殊建築物の入力3）																																		
5	3 Dモデルの作成（特殊建築物の入力4）																																		
6	3 Dモデルの作成（高度なレンダリング）																																		
7	3 Dモデルの作成（動画の作成）																																		
8	3 Dモデルの作成（卒業研究の題材入力1）																																		
9	3 Dモデルの作成（卒業研究の題材入力2）																																		
1 0	3 Dモデルの作成（卒業研究の題材入力3）																																		
1 1	3 Dモデルの作成（卒業研究の題材入力4）																																		
1 2	3 Dモデルの作成（卒業研究の題材レンダリング）																																		
1 3	3 Dモデルの作成（卒業研究の題材 動画作成1）																																		
1 4	3 Dモデルの応用（卒業研究の題材 動画作成2）																																		
1 5	3 Dモデルの応用（卒業研究の題材 プレゼン）																																		
【資格との関連】	3 次元 CAD 利用技術者試験																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教 科 書】	Archicad26 ではじめる BIM 設計入門																																		
【参 考 資 料】	はじめての Archicad（グラフィソフトジャパン） Archicad Magic（グラフィソフトジャパン）																																		
【留 意 事 項】	現在の実務業務において、お客様に提示する図面はほとんどがデジタル化されており、3 D－C A Dやプレゼンソフトの習得は必須となってきています。卒業研究でも使用しますので、授業中に分らないことがあった場合はすぐに質問して確認してください。																																		

【授業科目名】	卒業研究Ⅰ（授業形態：実習）																																		
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	3 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	後 期																																		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	(90 分×5 回+45 分×1 回) ×15 週																																
【授業担当者】	中野 大希 [実務経験：建設会社にて建築物の設計・施工監理] 古谷 友宏 [実務経験：建築設計事務所にて建築物のプレゼン]																																		
【学 習 目 標】	全教科の建築知識を基に、今日の社会生活環境の本質に対する問題提起とその解決法を表現するため、幅広く建築計画手法（調査・類似例の収集・事例研究・敷地選定・企画設計）を習得し、図面・模型・CGなどを用いてプレゼンする。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><th>回数</th><th>授業内容</th></tr><tr><td>1</td><td>社会問題に対する建築での解決法について オリエンテーション</td></tr><tr><td>2</td><td>社会問題調査・事例研究・解決策検討</td></tr><tr><td>3</td><td>社会問題調査・事例研究・解決策検討</td></tr><tr><td>4</td><td>社会問題調査・事例研究・プレゼン準備</td></tr><tr><td>5</td><td>中間発表</td></tr><tr><td>6</td><td>社会問題調査・事例研究・解決策再検討</td></tr><tr><td>7</td><td>社会問題調査・事例研究・具体案作成</td></tr><tr><td>8</td><td>社会問題調査・事例研究・具体案作成</td></tr><tr><td>9</td><td>図面・模型作成・プレゼン準備</td></tr><tr><td>10</td><td>中間発表</td></tr><tr><td>11</td><td>解決策再検討、具体案再作成</td></tr><tr><td>12</td><td>図面・模型・CG作成①</td></tr><tr><td>13</td><td>図面・模型・CG作成②</td></tr><tr><td>14</td><td>図面・模型・CG作成③</td></tr><tr><td>15</td><td>図面・模型・CG作成④ 課題提出</td></tr></table>			回数	授業内容	1	社会問題に対する建築での解決法について オリエンテーション	2	社会問題調査・事例研究・解決策検討	3	社会問題調査・事例研究・解決策検討	4	社会問題調査・事例研究・プレゼン準備	5	中間発表	6	社会問題調査・事例研究・解決策再検討	7	社会問題調査・事例研究・具体案作成	8	社会問題調査・事例研究・具体案作成	9	図面・模型作成・プレゼン準備	10	中間発表	11	解決策再検討、具体案再作成	12	図面・模型・CG作成①	13	図面・模型・CG作成②	14	図面・模型・CG作成③	15	図面・模型・CG作成④ 課題提出
回数	授業内容																																		
1	社会問題に対する建築での解決法について オリエンテーション																																		
2	社会問題調査・事例研究・解決策検討																																		
3	社会問題調査・事例研究・解決策検討																																		
4	社会問題調査・事例研究・プレゼン準備																																		
5	中間発表																																		
6	社会問題調査・事例研究・解決策再検討																																		
7	社会問題調査・事例研究・具体案作成																																		
8	社会問題調査・事例研究・具体案作成																																		
9	図面・模型作成・プレゼン準備																																		
10	中間発表																																		
11	解決策再検討、具体案再作成																																		
12	図面・模型・CG作成①																																		
13	図面・模型・CG作成②																																		
14	図面・模型・CG作成③																																		
15	図面・模型・CG作成④ 課題提出																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士 1 級・2 級土木施工管理技士																																		
【成績評価方法】	中間発表会の内容、提出された課題の出来具合、授業態度などを加味して、総合的に評価します。																																		
【教 科 書】	講義に関しては、随時参考図書を指定する。個人作業に関しては、制作に必要なとなるすべての情報資料を各自が随時選択して使用する。																																		
【参 考 資 料】	卒業研究作品集、地誌、新聞																																		
【留 意 事 項】	中間発表の欠席や課題の未提出は採点の対象とならず、成績評価が出来ませんので、特に注意が必要です。																																		

【授業科目名】	卒業研究Ⅱ（授業形態：実習）																																		
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	2 単位																																
【学 科 名】	建築環境学科	【コース】	建築・土木施工コース																																
【学習時期】	後 期																																		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	(90 分×3 回) ×15 週																																
【授業担当者】	赤城 真美江 [実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計] 松枝 俊之 [実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計] 川崎 龍太 [実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計]																																		
【学 習 目 標】	卒業研究Ⅰで研究・調査したデータを基に、建築物または工作物として具体的に計画する。各図面や3D パース、模型等を用いて具体的に表現し、建築学及び都市計画的観点からオリジナリティのある作品を提案し、卒業研究発表会にてプレゼンする。																																		
【授 業 計 画】	<table><tr><th>回数</th><th>授業内容</th></tr><tr><td>1</td><td>基本計画追加図面作成（配置・平面・立面・断面 等）</td></tr><tr><td>2</td><td>基本計画追加図面作成（配置・平面・立面・断面 等）</td></tr><tr><td>3</td><td>基本計画追加図面作成（配置・平面・立面・断面 等）</td></tr><tr><td>4</td><td>2次元CAD入力</td></tr><tr><td>5</td><td>2次元CAD入力</td></tr><tr><td>6</td><td>2次元CAD入力、模型作成（詳細模型）</td></tr><tr><td>7</td><td>2次元・3次元CAD入力、模型作成（詳細模型）</td></tr><tr><td>8</td><td>2次元・3次元CAD入力、模型作成（詳細模型）</td></tr><tr><td>9</td><td>2次元・3次元CAD入力、模型作成（詳細模型）</td></tr><tr><td>10</td><td>3次元CAD入力、プレゼン図面作成・模型制作（詳細模型）</td></tr><tr><td>11</td><td>3次元CAD入力、プレゼン図面作成・模型制作（詳細模型）</td></tr><tr><td>12</td><td>3次元CAD入力、プレゼン図面作成・模型制作（詳細模型）</td></tr><tr><td>13</td><td>発表準備、模型写真撮影</td></tr><tr><td>14</td><td>発表準備、模型写真撮影、発表会場設営</td></tr><tr><td>15</td><td>卒業研究発表会</td></tr></table> ※BYOD授業対象とし、すべての授業において各自のデバイスを活用しながら各項目の調査、図面作成等を行う。			回数	授業内容	1	基本計画追加図面作成（配置・平面・立面・断面 等）	2	基本計画追加図面作成（配置・平面・立面・断面 等）	3	基本計画追加図面作成（配置・平面・立面・断面 等）	4	2次元CAD入力	5	2次元CAD入力	6	2次元CAD入力、模型作成（詳細模型）	7	2次元・3次元CAD入力、模型作成（詳細模型）	8	2次元・3次元CAD入力、模型作成（詳細模型）	9	2次元・3次元CAD入力、模型作成（詳細模型）	10	3次元CAD入力、プレゼン図面作成・模型制作（詳細模型）	11	3次元CAD入力、プレゼン図面作成・模型制作（詳細模型）	12	3次元CAD入力、プレゼン図面作成・模型制作（詳細模型）	13	発表準備、模型写真撮影	14	発表準備、模型写真撮影、発表会場設営	15	卒業研究発表会
回数	授業内容																																		
1	基本計画追加図面作成（配置・平面・立面・断面 等）																																		
2	基本計画追加図面作成（配置・平面・立面・断面 等）																																		
3	基本計画追加図面作成（配置・平面・立面・断面 等）																																		
4	2次元CAD入力																																		
5	2次元CAD入力																																		
6	2次元CAD入力、模型作成（詳細模型）																																		
7	2次元・3次元CAD入力、模型作成（詳細模型）																																		
8	2次元・3次元CAD入力、模型作成（詳細模型）																																		
9	2次元・3次元CAD入力、模型作成（詳細模型）																																		
10	3次元CAD入力、プレゼン図面作成・模型制作（詳細模型）																																		
11	3次元CAD入力、プレゼン図面作成・模型制作（詳細模型）																																		
12	3次元CAD入力、プレゼン図面作成・模型制作（詳細模型）																																		
13	発表準備、模型写真撮影																																		
14	発表準備、模型写真撮影、発表会場設営																																		
15	卒業研究発表会																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士 1 級・2 級建築施工管理技士 1 級・2 級土木施工管理技士																																		
【成績評価方法】	提出された図面と模型や発表会の内容、授業態度などを加味して、総合的に評価します。																																		
【教 科 書】	講義に関しては、随時参考図書を指定する。個人作業に関しては、制作に必要なとなるすべての情報資料を各自が随時選択して使用する。																																		
【参 考 資 料】	卒業研究作品集、地誌、新聞																																		
【留 意 事 項】	課題は期限内に提出されないと採点の対象とならず、成績評価が出来ませんので、特に注意が必要です。																																		